

TURNING POINT

選手募集案内

一般財団法人日本モーターボート競走会

[ボートレーサー養成所] 〒839-0263
福岡県柳川市大和町大坪54-1
TEL 0944-76-5051



ボートレーサーを
目指す君たちへ

2023年11月1日発行

一般財団法人日本モーターボート競走会

DO IT NOW

ボートレーサーになれ!



CONTENTS

DO IT NOW	01
TURNING POINT	03
PROFESSIONAL	05
GATEWAY TO SUCCESS	07
ボートレースって、ナンダ?	09
レースはこうして展開する	10
闘いの舞台(24ボートレース場MAP)	11
トップを目指せ!(年収・賞金額)	13
公営競技としてのボートレース	15
MECHANICS	17
ENGINEERING	19
TECHNICS	20
ボートレーサー養成所	21
夢への第一歩	22
入所試験の内容	23
充実した施設で実現する「夢」	25
1年でプロへの扉が開かれる	27
ボートレーサー養成所の1日	28
訓練—教官が授けること	29
どんなことを学ぶの?	30
ボートレーサーの志望動機	31
いろんなスポーツからボートの世界へ	33
卒業した選手に聞く!	35
若手女子レーサーの夢	37
THIS is BOATRACER	
TOP RACER INTERVIEW	39
ボートレーサーの出身地	40
若手レーサーに聞く	41
ボートレーサーのONとOFF	42
女子レーサーも多数活躍	43
ボートレーサーの職場結婚	44
ボートレーサーは長く続けられる	45
ボートレーサーの保障制度	46
ボートレーサーの社会貢献活動	47
DO YOUR BEST	49
問い合わせ先	50

TURNING POINT

1周1マークの 攻防

人生のターニングポイント
勝負を賭けるのは今!

ボートレーサーへの道は、野球やサッカーなど他のスポーツに比べ、広く開かれている。チャレンジできる基本的な条件(15歳以上30歳未満、身長175cm以下など)さえクリアしていれば経験不問。学歴・職歴も関係ない。もちろん、女性も平等にチャレンジできる。

最初の関門がボートレーサーになるために全員が入所する「ボートレーサー養成所」の入所試験。倍率は決して低くない。だが、ここさえ突破すれば、プロへの道は大きく開かれる。プロのボートレーサーの平均年収は1,800万円。トップレーサーになれば3億円も夢ではない。

ボートレーサー養成所の入所試験は人生の1周1マーク。この攻防に、君の全てを賭けてみないか?

今こそが、人生のターニングポイントだ。



1周1マークの攻防

ボートレースの勝負は1マーク。最初のターンでの攻防が最も重要だと言われている。ここでの攻防でいかに「モンキーターン」を決めるか。レーサー達の集中力がひととき高まる瞬間だ。この一瞬にこれまでの人生の全てを賭ける。そう言っても過言ではない。

PRO FESSIONAL

不況の波は
実力の世界には届かない

DO IT NOW
ボートレーサーになれ!

「プロの力」 自分の腕で 生きる者の強み

今は、たとえ一流大学を出ても簡単に就職や安定した生活はできない時代だ。社会が不安定ならば、己の腕一本で生きていこう。そう考える者も多いかも知れない。プロサッカー選手?ミュージシャン?はたまた映画俳優?だが、これらの世界に入るには、持って生まれた才能に加え、学生時代までの実績と運が不可欠だ。そして、たとえその道に入れたとしても、安定して仕事を続けていける者はごくわずかだろう。

一方、ボートレースは学生時代までに経験を積む機会はほとんどない。だから、スタートラインは皆一緒。高校や大学を卒業した後から志しても、全く遅くはないのだ。「レースに出て賞金を得る」。プロのボートレーサーになれば、その己の行動が全て。シンプルな世界だからこそ、誰かの都合や不況など社会の波に左右されることは少ない。さらに、デビュー後の経験や技術の積み重ねがものを言う競技だけに、50代、60代の選手も珍しくはない。ボートを「操る腕」「調整する腕」。それさえあれば、太く長く生き抜くことができる。これが、ボートレーサーの持つ「プロの力」だ。



平均年収 1,800万円 トップレーサーは 2億円超

ボートレーサーの収入はレースの「賞金」。月給制のサラリーマンと比べて不安定かというところでもない。トップクラスの選手の獲得賞金は年間2億円以上。ボートレーサーは成績によってクラス分けされているが、最低ランクのB2クラスでも平均年収は約510万円。全選手平均では約1,800万円。むしろ、サラリーマンよりもずっと収入は良いと言えるのだ。過去最高の年間獲得賞金は、植木通彦の2億8,418万円(2002年)。3億円プレーヤーも夢ではない。

生涯獲得賞金ベスト3

(2023年8月7日現在)

- 1 松井 繁 / 40億0,660万円
- 2 今村 豊 / 29億1,446万円
- 3 今垣 光太郎 / 26億0,770万円



GATEWAY TO SUCCESS

ボートレーサーへの道

DO IT NOW
ボートレーサーになれ!

入所すれば 道が開ける

ボートレーサーになるにはどうしたらいいの？
ボートレーサーを養成する「ボートレーサー養成所」(福岡県)に入る。単純明快だ。
15歳以上30歳未満。身長175cm以下、
体重49-57kg(女子44-52kg)。裸眼視力0.8以上。
中卒、高卒、大卒、関係なし。社会人経験者も多い。
条件にかなった者ならば、誰でも入所試験を受けられる。

倍率は約20倍と、決して楽な道ではない。
何度もチャレンジしてプロへの切符を手にする者もいる。
まずは、今このチャンスに熱くなれ。
己を賭けて挑めば、きっと道は開かれる。

入所時のスタートラインは皆同じ。
階段を一步一步登れば、プロになれる。
苦しいこと、つらいこともあるだろう。
だが、ボートレーサーになるという目標が明確ならば、
耐え抜くことができるはずだ。



ボートレーサー養成所の養成課程はたった1年。
4月入所と10月入所の2回のチャンスがあり、1
年間頑張ればプロレーサーになれる。水に慣れ
ることから始めて本番のレースに出場できるよう
になるまで、順を追ってボートレーサーになるため
に必要な基礎を身につける。短期集中型の全寮
制教育。適性を各種試験で判定し、一定の成績
に達しないと途中退所となる。資格検定試験に
合格すれば、プロデビューだ。

2017年4月から費用が無償に

2017年4月から、養成訓練にかかる費用が
無償になった。養成員やその家族の経済的
な負担を軽減することでボートレーサー志願
者への門戸を広げ、次世代の才能ある人
材の確保を目指すためだ。

ボートレーサー養成所 1年間の養成課程の流れ

入所式 4月or10月

基礎訓練 3カ月間

技術応用練習

(実際のボートの操縦など)

- ・班別試験
- ・能力別訓練
- ・進級試験
- ・選手招聘訓練
- ・修了試験

資格検定試験

修了記念競走

B2級でプロデビュー
(成績上位者はB1級扱い)

WHAT IS BOAT RACE

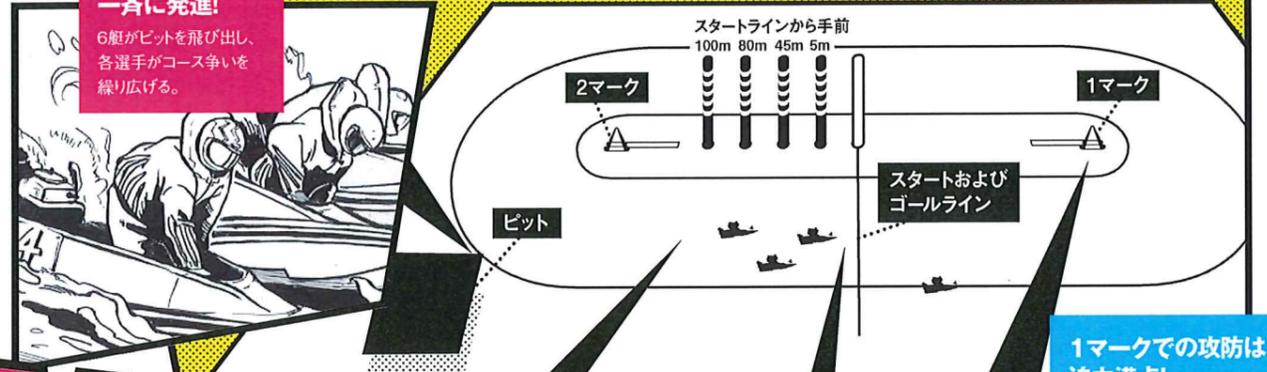
ボートレースって、ナニダ?

レースはこうして展開する



**ピットから6艇が
一斉に発進!**

6艇がピットを飛び出し、各選手がコース争いを繰り広げる。



WRROOOO!!!

さあ、スタート!

スタートを制した者がレースをグッと有利に運べる。全神経を集中させ、大時計の動きや風や波を計算してスタートする。レースは3周(1周600m×3=1800m)してゴールするまでの着順を争う。1レースにかかる時間は4分くらい。

**スタート前の
駆け引き**

この待機行動中に、6艇が得意なコースを争う。各選手には作戦があり、枠番通りに入るとは限らない。

**1マークでの攻防は
迫力満点!**

ボートレースの醍醐味は、何といても各コーナーでのターン技術! 水しぶきが跳ね上がり、豪快かつ俊敏なハンドルさばきが求められる。とくに最初の1周1マークが勝負のポイントになる。

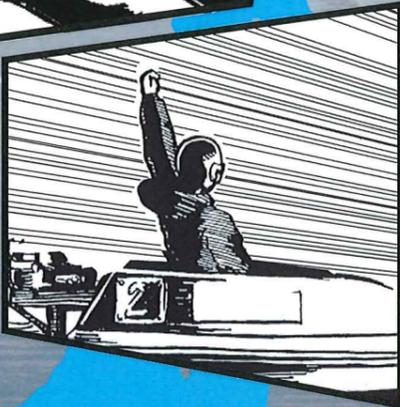
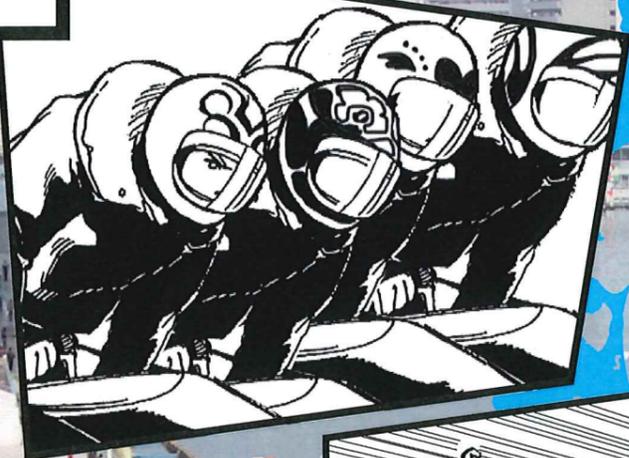
SPLAASH

レース前日から最終日までの流れ (SGなどグレードの高いレースの場合)



闘の舞台

ボートレーサーは、出身地や居住地に近い支部に所属する。例えば、東京支部なら江戸川・平和島・多摩川の各レース場が「地元」ということになる。だが、所属支部に関係なく全国24のレース場に出場機会がある。ボートレーサーになれば、日々全国を回ることになるわけだ。



WAAAAAAAA

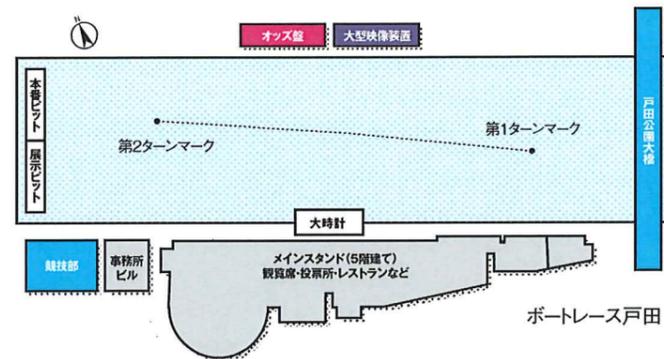
-
- 三国 (福井県)
 - びわこ (滋賀県)
 - 住之江 (大阪府)
 - 尼崎 (兵庫県)
 - 児島 (岡山県)
 - 宮島 (広島県)
 - 徳山 (山口県)
 - 下関 (山口県)
 - 桐生 (群馬県)
 - 戸田 (埼玉県)
 - 江戸川 (東京都)
 - 平和島 (東京都)
 - 多摩川 (東京都)
 - 浜名湖 (静岡県)
 - 蒲郡 (愛知県)
 - 常滑 (愛知県)
 - 津 (三重県)
 - 鳴門 (徳島県)
 - 丸亀 (香川県)
 - 若松 (福岡県)
 - 芦屋 (福岡県)
 - 福岡 (福岡県)
 - 唐津 (佐賀県)
 - 大村 (長崎県)

AAAAAAAAAW

ボートレーサーの職場 ボートレース場



ボートレーサーの職場となるボートレース場は、大きく分けてレースを行う競走水面、お客さんが観戦するスタンド、ボートやモーター、プロペラの整備をする競技部に分かれる。海、湖、河川の一部を使ったり人工的に作った水面があり、ナイター開催も行われる。海水面と淡水面との乗り心地の違いや、レース場との相性を意識する選手も多い。

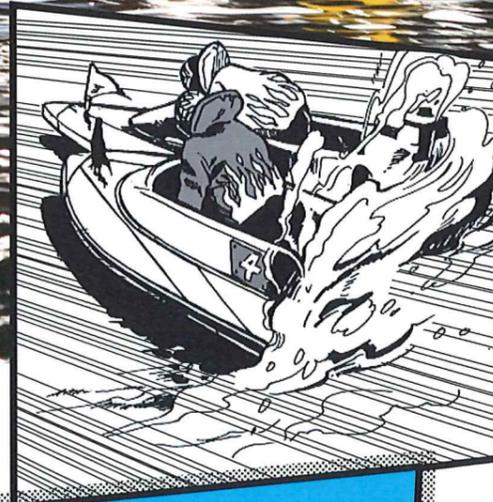


レース開催中は 選手宿舎で生活

ボートレーサーは前検日と呼ばれる開催前日からレース場に入り、開催終了までレース場近くの選手宿舎に宿泊する。外出はもちろん、外部との連絡は一切取れないようになっている。携帯電話や酒類などは持ち込み禁止。これは公正・安全なレース運営のためだ。



トップを目指せ!



優勝賞金最高額は1.1億円!

レースのグレード

レースは、全国24ボートレース場で年間を通じて行われている。レーサーのクラス分け同様、レースにもグレードがあり、上から順にSG(スペシャルグレード)、GI、GII、GIII、一般戦となっている。各レースには成績による出場条件があり、当然、上に行くほど条件は厳しくなる。SGの中でも「グランプリ」は優勝賞金が1.1億円と最も高く、これに出場することがトップレーサーの証明になると言えるだろう。

GIは、SGのような厳しい出場条件はないが、精鋭揃いのレースが展開されることに変わりはない。GIで優勝することが、若手レーサーの当面の目標と言えるかもしれない。



おもなレースと優勝賞金額

SG

👑 グランプリ	1.1億円
👑 ボートレースクラシック	4,000万円
👑 ボートレースオールスター	4,000万円
👑 ボートレースメモリアル	4,000万円
👑 ボートレースダービー	4,000万円
👑 グランドチャンピオン	3,400万円
👑 オーシャンカップ	3,400万円
👑 チャレンジカップ	3,400万円

プレミアムGI

★ マスターズチャンピオン	1,200万円
★ レディースチャンピオン	1,200万円
★ ヤングダービー	1,200万円
★ BBCトーナメント	1,200万円
★ クイーンズクライマックス	1,600万円
★ スピードクイーンメモリアル	2024年度より新設

GI

★ 周年記念	1,100万円
★ 高松宮記念	1,000万円
★ ダイヤモンドカップ	1,000万円
★ 地区選手権	580万円

(2023年度)

A1レーサーの平均年収は4,100万円

ボートレーサーのクラス分け

ボートレーサーは成績によって、上から順にA1級・A2級・B1級・B2級と4つのクラスに分かれる。クラス分けはできるだけ直近の成績が反映されるよう、半年毎に行われる。大相撲の番付に近いものだと考えればいいだろう。

上位クラスになると賞金の高いレース(SG・GI等)に出場することができる。どのレースに出場するかは、成績によって「あっせん」される。

クラス別平均年収(2022年)

👑 A1 約320人	平均約 4,100万円
👑 A2 約320人	平均約 2,100万円
👑 B1 約790人	平均約 1,300万円
👑 B2 約160人	平均約 510万円

公営競技としてのボートレース



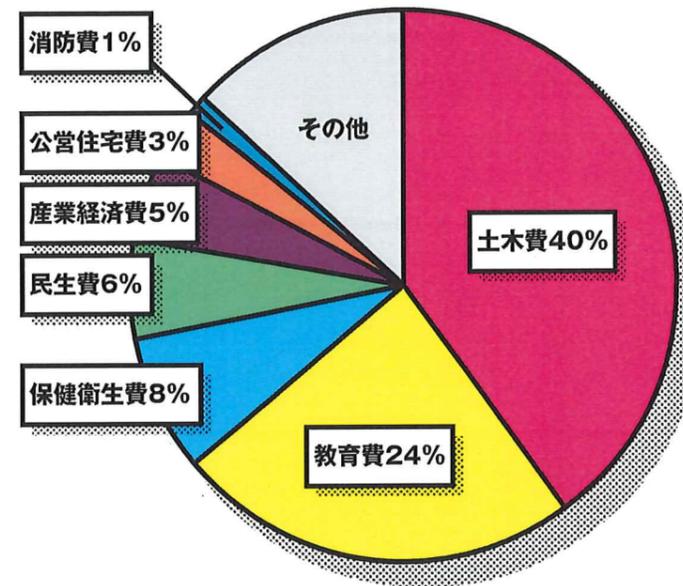
ボートレースを主催するのは、各レース場がある地方自治体だ。レースの運営は一般財団法人日本モーターボート競走会が自治体から受託して行う。

おもにファンが舟券を買うことによって得られる売上のうち、75%は払戻金。残りの額から競技運営費や選手への賞金等の開催経費、また、主催者である地方自治体の収益となる。地方自治体は、ボートレースの収益を学校・病院などの公共施設の建設、道路整備、再開発事業などに充てている。

ボートレーサーもまた、こうした公共性の高い公営競技を担う一員だ。そのため、「ボートレーサーはファンに対して、公人として恥ずかしくない態度で行動しなければいけない」とよく言われる。「公人」という堅い表現で言われるからといって、決して難しく考える必要はないが、社会常識からかけ離れた行動や言動は慎むべきだろう。

地方自治体の収益金の使い道 (1952年度～2020年度)

ボートレースが誕生した1952年度から2020年度までの69年間で、約4兆370億円が社会のために役立てられてきた。



収益金活用例

文化財の復元整備 (静岡県湖西市)
湖西市では、関所をまちづくりの核として江戸時代の関所構内の復元整備を進めている。これまでに大御門や渡船場、女改之長屋など次々と江戸期の関所の情景をよみがえらせることができた。

学校教育の充実 (兵庫県尼崎市)
英語を使ったコミュニケーションの充実を図り、生徒の英語力向上を推進する「英語学習ホップ・ステップ・ジャンプ事業」、小中高の児童生徒による多彩な音楽活動を推進する「育み・育ち・つなぐ音楽のまち尼崎事業」、研究・開発のための仮説検証のスキルを育てる「理数探求事業」を実施。

公共施設等の整備 (長崎県大村市)
防災対策として、防災ラジオの各世帯配布、防災行政無線の整備。また、河川、道路、農業用施設等の応急的な災害復旧に活用。教育環境づくりとして、小中学校全教室へのエアコン設置、給食センターの整備、全面人工芝グラウンドのスポーツ広場や総合運動公園の整備。そのほか、新幹線新大村駅の周辺整備や、レース場に隣接し、桜・菖蒲の名所として有名な大村公園の整備にも活用している。

選手宿舎の内部を公開!

「公人」であるボートレーサーは、公正・安全なレース運営のため、レース開催中はレース場近くの宿舎に寝泊りする。外出、電話、メールなど外部との接触は一切できないだけに、快適な施設かどうか気になるところだ。24ボートレース場の宿舎の一つ、江戸川選手宿舎(東京都)の内部を紹介しよう。



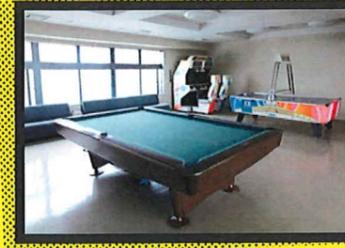
居室

プライバシーが守られた個室が並ぶ居室フロア。曇敷きの「和風ベッド」に敷く布団やシーツは、日々清潔にクリーニングされる。個室の外には共用の洗面所や談話スペースがある。



食堂

食堂はセルフサービス式。専属のスタッフが毎日心を込めて栄養のバランスが取れた食事を作る。食堂の一角には売店コーナーもあり、スナック菓子やカップ麺を購入することができる。



娯楽スペース

ビリヤード台やゲーム機がある娯楽スペース。厳しいレースを戦う選手たちには息抜きも必要だ。気分をリフレッシュして次の日の戦いに臨みたい。



浴室

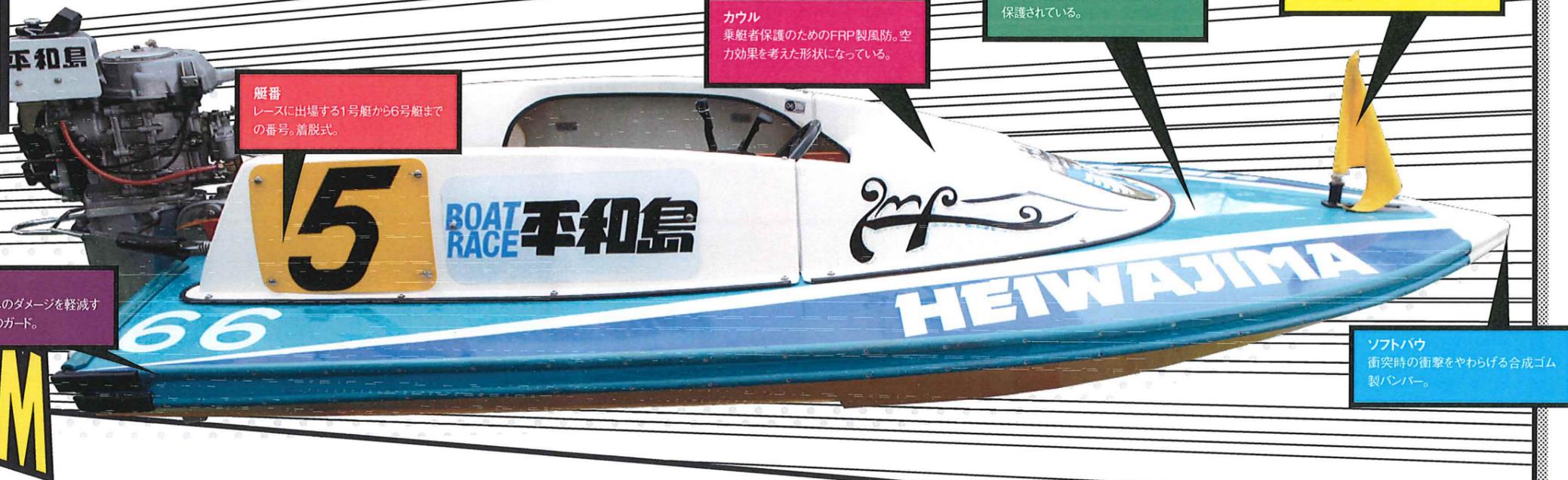
ちょっとした温泉気分が味わえる大浴場。広々とした湯船やサウナでレースの疲れを癒す。



時速80kmの高速マシン

BRRROOOOOOM

ボートレースで使われるモーターボートは、小型軽量の高速マシンだ。全長2.895m、重量約120kg。総排気量396.9ccの水冷2サイクルモーター(エンジン)を搭載し、最高速度は時速85km近くに達する。レースの公平性を保つため、ボート、モーター共に全て同じ規格で製造している。



Oooooom

フェンダー
接触時にボートへのダメージを軽減するプラスチック製のガード。

艇番
レースに出場する1号艇から6号艇までの番号。着脱式。

カウル
乗艇者保護のためのFRP製風防。空力効果を考えた形状になっている。

デッキ
ボートの上面部分。4層以上の塗膜で保護されている。

艇旗
1〜6号艇を色で識別するための旗。1号艇から順に白、黒、赤、青、黄、緑。はためき方でボートの動きを確認するためにも用いる。

ソフトバウ
衝突時の衝撃をやわらげる合成ゴム製バンパー。

Motor & Propeller



モーターは、各ボートレース場で管理しているものをレース前日に抽選によって出場レーサー一人ひとりに振り分ける。プロペラ(舟のスクリュー)も同時にモーターとセットで配備される。

モーターもプロペラも、レーサーが受け取った後はレース本番で最高の性能を発揮できるよう、自分の手で整備・調整することができる。どちらも同じ規格で作られた量産品だが、前回のレースで他のレーサーが使ったものを引き継ぐため、限られた時間の中で、自分の乗りやすいようにモーターを整備し、プロペラを修整することもレーサーの技量のひとつだ。

Cockpit

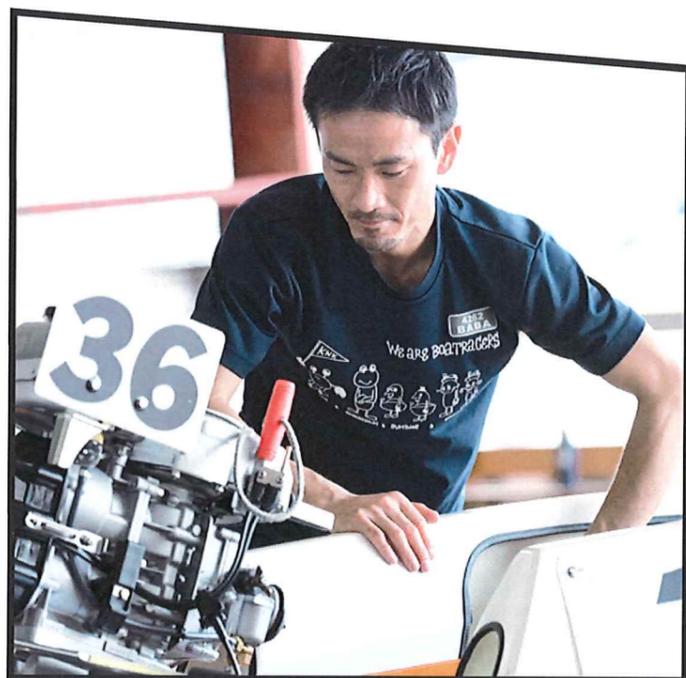


ボートは、ステアリングホイール(ハンドル)とスロットルレバーで操る。ステアリングホイールは、ワイヤーでモーターとつながっており、右手一本で回してモーター本体の方向を変えることでボートを左右に動かす。

スロットルレバーは、自動車のアクセルに相当するもの。左手で操作し、レバーを握るとスピードアップ。握りを緩めるとスピードダウン。ブレーキはついていない。

ボートには車のような座席はなく、右手でステアリング、左手でスロットルレバーを握り、床板の上に正座する。レース中の直進時は空気抵抗の少ない前傾姿勢を取る。ターンをする時は、上半身を前傾させたまま立ち上がり、曲がる方向に大きく体を傾ける。この「モンキーターン」と呼ばれるテクニックには、選手ごとに工夫したさまざまなスタイルがある。

レーサーは優秀なメカニックたれ!



整備は選手自らがやる

ボートレースはモータースポーツである。F1などと違い、レースの公平性を保つために、同じメーカーが作る同じボートとモーターを使うが、整備の仕方によって性能に差がつく。レース開催中の整備はレーサー自身が行うため、レーサーはドライバーであると同時に、優秀なメカニックでなければならない。

ボートとモーターは、レースが開催されていない間は、各ボートレース場の整備士が整備し、管理している。レース開催前日の前検日に出場選手を集めて抽選を行い、各選手に引き渡される。その後は整備士にアドバイスを受けることはできるが、手を動かすのはあくまでレーサー自身。特にモーターのセッティングには天候や水面の状況に合わせて部品の微妙な擦り合わせ具合を変えるなど、それぞれにこだわりがあり、レースの行方を左右する重要な要素の一つになっている。

師弟関係

レーサー同士はライバルであると同時に、同じ目標に向かう仲間でもある。若手レーサーの多くは同じ支部に所属するベテランや一流レーサーと師弟関係を結び、エンジン整備や乗艇技術から挨拶にいたるまで、一流になるためのあらゆることを師匠から学んでいる。

弟子の勝利を自分のこのように喜ぶ師匠の姿を目にする一方、レースで直接対戦となれば、師弟関係を越えた手加減なしの真剣勝負を繰り広げる。惜しむことなく経験や知識を伝え、水面では対等な立場で順位を競う。これがボートレースの師弟関係だ。



テクニックと戦略を身につける!



勝負を分けるターンテクニック

良いモーターとプロペラを得ても、ボートを操る技術がなければレースには勝てない。勝負を決めるターンテクニックを紹介しよう。

モンキーターン

ボートの上に前傾姿勢で立ち上がり、外側に向かって足で蹴るように回る。ボートの外側に荷重がかかって通常のターンよりも高速旋回が可能になった。理論派レーサーの飯田加一選手が始めたと言われ、1990年代半ばごろから最もポピュラーなターンテクニックになった。

ウイリーモンキー

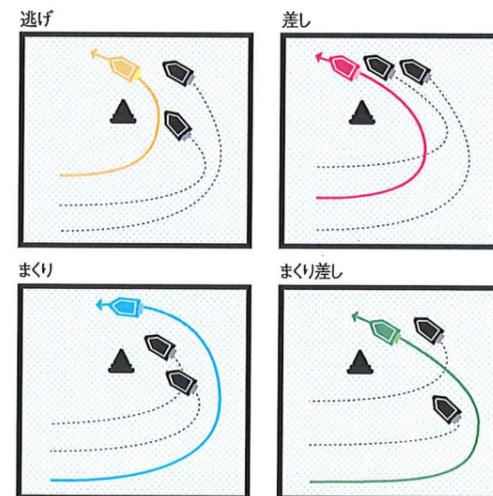
よりスピードを追求するため、トップクラスの選手が駆使するターンテクニック。外側に荷重をかけることで全速に近いターンを可能にしたモンキーターンに対し、ターン後半部分でウイリーするようにボートの前方を浮かせ、水の抵抗を減らすことでカーブの出口で一瞬の出足をつける。



ボートレースのおもな戦法

ボートレースには、いくつかの戦法がある。どんな戦法で勝ちに行くか、戦略と状況判断能力が求められる。

- 逃げ** 1コースを取った選手が最初に1マークを周りそのままゴールする戦法。
- 差し** 2～6コースの選手が内の艇を先に行かせた後、開いた懐を抜けていく戦法。他の選手が立てた波を越えなくてはならないので強いモーターパワーが必要。
- まくり** 先行艇や内側にいる艇を外側から抜き去るスピード感溢れるダイナミックな戦法。最も華のある決まり手の一つだ。
- まくり差し** まくりと差しの合わせ技。外側から、内側にいる艇を追い抜き更に先行艇の内側に一気に切り込む戦法。瞬時の状況判断を求められる高等テクニックだ。



ボートレーサー養成所

「プロレーサー」というゴールがあるから、明日に向かっていける

夢への第一歩

ボートレーサーになる方法は単純明快だ。レーサーを養成する「ボートレーサー養成所」に入所し、修了すれば良い。ただし、ボートレーサー養成所に入所するには身長・体重などの応募資格があり、高校や大学と同じように入所試験がある。募集期間は7～9月(4月1日入所)と1～3月(10月1日入所)の年2回。募集人員はそれぞれ50名程度。試験に合格すると、1年間寮生活を送りながら、ボートレーサーになるためのさまざまな訓練や勉強をする。この1年間を乗り切った者が、名実ともにボートレーサーと呼ばれる。

応募資格

- (1)年齢:15歳以上30歳未満
- (2)学歴:入所日において中学校を卒業していること
- (3)身長:175cm以下
- (4)体重:男子49kg以上57kg以下、女子44kg以上52kg以下
- (5)視力:両眼とも裸眼で0.8以上(コンタクト・フェイクIOL(ICL)「有水晶体眼内レンズ」手術は不可)
- (6)弁色力:強度の色弱でないこと
- (7)聴力その他の健康状態:選手養成訓練を行うのに支障のない者
- (8)その他:禁錮以上の刑に処せられた者及びモーターボート競走法に違反して罰金以上の刑に処せられた者、選手養成訓練中に成績不良又は素行不良により養成を取りやめられた者、反社会的勢力との関係が疑われる等モーターボート競走の公正を害するおそれがあると認められるに足りる相当の理由のある者のいずれにも該当しない者

第2次試験の受験回数は5回(欠席・辞退含む)までとします。

※但し、第125期選手養成訓練入所試験以前の第2次試験を受験し、5回以上不合格となった者については、その後実施する第2次試験を1回に限り受験することができます。

スポーツ推薦試験

一般試験応募者のうち、スポーツ活動(対象競技は不問)において優れた実績を収めた者は、人物試験の後に、2次試験に進む。各ボートレース場が応募者総数に応じて受験申請書のスポーツ運動歴の記録内容を見て、推薦対象者を選ぶ。

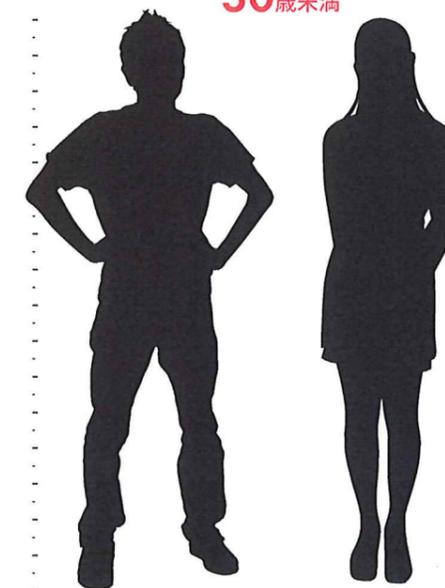
特別試験

モータースポーツやその他のスポーツ競技で世界規模またはそれに準じた大会で優秀な成績を収めた者が対象。受験料や体力試験が免除される。

- モーターボートの全日本K400選手権大会において、3年以上連続して3位以内の者
- 一般社団法人日本自動車連盟公認の国際ライセンス以上の取得者又は一般社団法人日本モーターサイクルスポーツ協会公認の国際ライセンスの資格取得者であって、国際大会又は国内大会において5位以内の者
- スキー、スノーボード又は体操競技において、オリンピック、その他世界大会で日本代表の者
- 一般財団法人日本ボクシングコミッション公認A級ライセンスの資格を取得し、日本ランキング5位以内の者
- その他のスポーツにおいて、競走会が特に認める者

※特別試験の受験は1回のみ

身長 175cm以下
年齢 15歳以上 30歳未満
裸眼視力 0.8以上



体重(男子) 49kg以上 57kg以下

体重(女子) 44kg以上 52kg以下

第1次試験

学科試験
(国語、数学、理科、社会)、
体力試験

第2次試験

【1次試験合格者、スポーツ推薦者】
身長・体重測定、適性試験、
体力試験

第3次試験

【2次試験合格者】
面接、身体検査、適性検査

合格発表

※応募資格、試験の実施要項は年度によって変更になる可能性があります。詳しくは下記までお問い合わせください。
一般財団法人日本モーターボート競走会 ボートレーサー養成所 養成課 〒839-0263 福岡県柳川市大和町大坪54-1 TEL:0944-76-5051 FAX:0944-76-5058

入所試験は難しい？

入所試験はどのように行われるのか？紹介しよう。

入所倍率20倍以上と聞けば、ハードルが高いんじゃないかな？と不安になるかもしれないが、心配無用。

試験内容はそんなに難しいモノじゃない。まずはチャレンジ！絶対合格するんだという意志があれば道は開けるだろう。



第1次試験

全国11か所で実施される。

応募者全員

学科試験

国語、数学、理科、社会の4科目。解答用紙にマークシート式で解答する。問題のレベルは高校入試程度。中学で学んだ教科書の確認や、公立高校の入試問題を解いておけば十分だ。

体力試験

筋力、柔軟性、瞬発力を計測する。

計測器具の使い方はその場で説明を受けるので戸惑うことはない。

第2次試験

第1次試験の合格者を対象に、福岡県のボートレーサー養成所で実施される。

150~200名程度

適性試験

操作適性、反応力、注意力、調整力、スポーツビジョン、心理判断ほか、文字どおりボートレーサーとしての適性を見る。ふだん見慣れない測定装置だが、落ち着いて息を整えてチャレンジだ。

体力試験

筋力、全身持久力、筋持久力、瞬発力、敏捷性、柔軟性を見るための種目を実施する。

思う存分運動能力を披露する機会だ。

第3次試験

第2次試験の合格者を対象に、第2次試験に引き続いて実施される。

80~90名程度

人物試験

試験官との面接を行う。1年間の訓練に臨む覚悟などについて聞かれる。堂々と答えよう。

身体検査

指定された病院で、眼科、耳鼻咽喉科、外科、内科、泌尿器科の検査を行う。

適性検査

指定された病院で、視覚、視野、音感、運動神経の検査を行う。

以上、紹介した試験内容は過去の実施例だ。回によって試験項目は少しずつ変わるが参考にして欲しい。

Q&A

Q 願書(申請書)はどこでもらえる？

A 全国にある日本モーターボート競走会の支局や支部です。(問い合わせ先はP50に)
また、ボートレーサー養成所HPの募集要項内にある資料請求フォームからも取り寄せ可能です。

Q スポーツクラブや学校での部活動など、本格的なスポーツ経験が無いが大丈夫か？

A 問題ありません。

Q 視力が悪く、レーシック手術をしても問題はないか？

A 手術をして両眼とも裸眼で0.8以上あれば受験可能です。
ただし、コンタクトフェイク10L(ICL)「有水晶体眼内レンズ手術」は不可です。

Q 願書(申請書)は郵送してもよいか？

A 郵送も受け付けています。
詳細は日本モーターボート競走会の支局へお問い合わせください。

Q 第1次試験の日程は？

A 毎年2回、5月と11月に行われます。

Q 学科試験のレベルは？

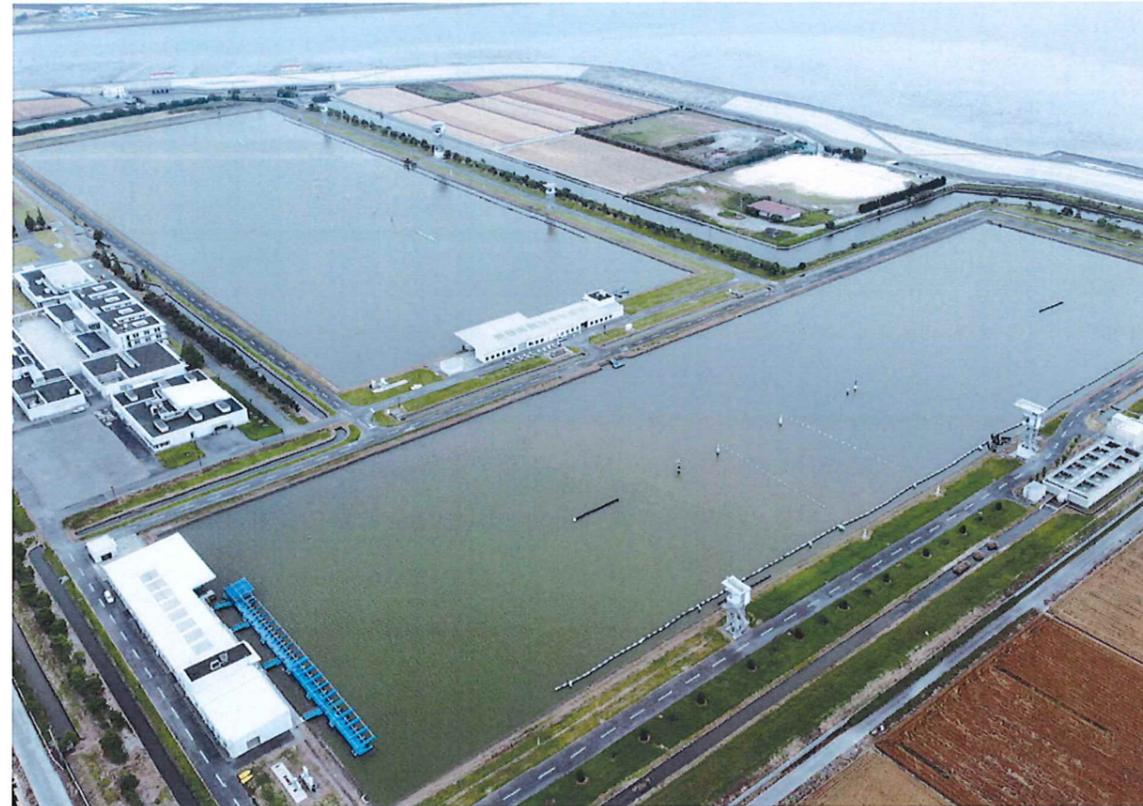
A 高校入試程度です。



充実した施設で実現する「夢」

「ボートレーサー養成所」は、2001年に山梨県の本栖研修所に代わり、より近代的な養成所として開所した。立地する福岡県柳川市大和町は、有明海をのぞむ水の豊富な干拓地で、ボートレースの養成所として申し分ない立地だ。

東京ドーム7個分の広大な敷地には、実際のボートレース場と同等の設備を持つ競技水面が2面ある。近代的な訓練棟と生活棟では、一人前のボートレーサーになるための知識と道徳を学ぶ。設備が充実しているということは、それだけ効率的な実戦訓練が積めるということ。夢を実現する環境は整っている。





ACCESS

交通アクセス



ボートレーサー養成所まで
九州自動車道のみやま柳川インターチェンジより車で30分
西鉄大牟田線、西鉄柳川駅より車で約20分
〒839-0263 福岡県柳川市大和町大坪54-1
TEL 0944-76-5051

Gallery



正面入口

広々とした敷地に広がるボートレーサー養成所。左の建物は食堂など生活施設のある1号館、右が講堂などの施設が中心の2号館。



競走水面

実際のボートレース場と同等の設備を備えた水面が2面あり、より実戦に近い訓練を効率的に行うことができる。



競技棟・艇庫

整備場、プロペラ修整室、ボート修理室などを備えた競技棟は、ボートレース場と同等の設備。艇庫のボートも、もちろん実戦仕様だ。



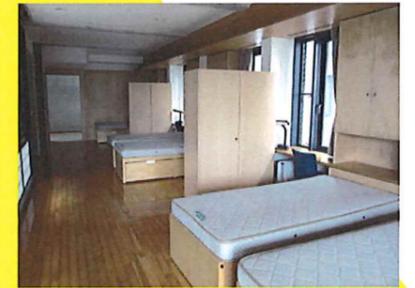
講堂

入所式、修了式などを行う講堂は200名収容。新入生の親睦会などの行事も、ここで行われる。



教室

ボートレーサーに必要な知識を学ぶ授業が日々行われる。



居室

居室は原則1部屋6名の相部屋。生活の拠点であると同時に、共同生活を学ぶ場でもある。



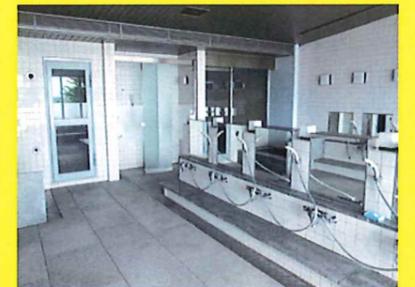
食堂

全寮制のボートレーサー養成所は、もちろん1日3食つき。ボートレーサーにふさわしい体作りのための、バランスの取れた食事が提供される。



トレーニングルーム

近代的なトレーニング機器が揃い、自主的な体作りが可能。科学的なトレーニングは、現代のボートレーサーの常識だ。



浴室

共同の大浴場。1日の疲れをしっかりと癒して明日に備えることも、プロを目指すにあたっては大事なことだ。

1年でプロへの扉が開かれる

ボートレーサー養成所の養成期間は1年だ。その間に年に数回行われる班別試験と入所5ヵ月目の進級試験、リーグ戦競走(模擬レース)、修了試験をクリアしていかなければいけない。最後に資格検定試験をパスして修了式を迎える。いくつかの関門はあるが、目標を持って一歩ずつ立ち向かえば、これらを突破することができるはずだ。

自宅に帰れるのは夏期休暇と正月休みだけ。一方、バーベキュー大会などの楽しいイベントもある。養成所の1年間は、生涯の仲間たちと出会う代えがたい日々でもある。ボートレーサーになるための技術や知識だけでなく、社会人一般に必要な常識やマナーを身につける機会もある。人間的にも一回り成長できるだろう。

入所から修了までのおもな流れ(4月入所の場合)

<p>1 入所式(4月) 募集は半年に1回あるため、4月入所と10月入所がある。ここからが正念場の1年間のスタートだ。</p>	<p>7 班別試験 最初の関門。自分の実力が同期の中でどのレベルか明らかになる。</p>
<p>2 ボート・モーター運搬 ボート・モーターに触れるのは、まずその運搬から。乗り込む前に、その重みを体で感じる。</p>	<p>13 選手招聘 現役のボートレーサーから直接指導を受けられる貴重な機会だ。</p>
<p>3 応急処置法 水上で事故があった時、仲間を助けられなければプロとは言えない。応急処置法や火災対応の訓練は、基本中の基本だ。</p>	<p>14 現地訓練 ボートレース場を訪ねて、レースに参加しているボートレーサーの生活を身をもって感じることができる。養成所以外の水面を走る初めての機会だ。</p>
<p>4 テーブルマナー講習会 プロのボートレーサーともなれば、公式な場での会食の機会もある。ほかにも、社会人としての常識を学ぶ機会が多い。</p>	<p>15 駅伝大会 楽しみながら、体力と根性を養う。</p>
<p>5 パドル航漕 まずはパドルでボートを漕ぐことから始める。ボートに慣れるだけでなく、モーターが故障した際にレースに必要な技量だ。</p>	<p>16 メディア・トレーニング マスコミ等への対応能力の向上を図るために講師を招いて講習会を実施。</p>
<p>6 初乗艇 いよいよ、水上をボートで疾走。運転技術だけでなく、整備技術も学んでいく。</p>	<p>17 修了試験(2月) いよいよ最終関門。ここを突破すればプロへの道が開かれる。続く資格検定試験を経て正式にプロへの切符が手に入る。</p>
<p>8 献血 社会に貢献することも、プロの条件だ。</p>	<p>18 修了記念競走・修了式(3月) 修了式の前には、修了記念競走が行われる。同期生は既にライバル。選手としての戦いはもう始まっている。</p>
<p>9 遠足 貴重な外出の機会を思い切り楽しみたい。</p>	<p>10 バーベキュー大会 本日は無礼講?ふだんは厳しい教官とも、この日はかりは楽しくBBQを囲む。</p>
<p>10 テーブルマナー講習会 プロのボートレーサーともなれば、公式な場での会食の機会もある。ほかにも、社会人としての常識を学ぶ機会が多い。</p>	<p>11 進級試験(8月) 入所してから学んだことが身につけられているかを求められる試験だ。</p>
<p>11 パドル航漕 まずはパドルでボートを漕ぐことから始める。ボートに慣れるだけでなく、モーターが故障した際にレースに必要な技量だ。</p>	<p>12 リーグ戦 ボートの運転に慣れてくると、定期的の実戦ながらのリーグ戦が6回以上開催される。腕を試す絶好の機会だ。</p>

充実した1日の積み重ねがやがて花開く



ボートレーサー養成所の1日

ボートレーサー養成所の日々は規則正しく進行する。規則正しい生活を習慣づけることは、体調管理が重要になるプロになってからも役に立つことだろう。掃除など日常の身の回りのことも、自分で行う。これも、ボートレーサーならずとも一人前の社会人になるために必要なステップだ。

1日のメインとなるのは、もちろん、課業。学ぶべきことは多い。ボートに乗っての訓練だけでなく、整備実技、電気工学などボートレーサーに必要な教科学習、体力作りのための体育もある。

ボートレーサー養成所ではレース場同様に、飲酒、携帯電話やゲーム機などの私物の持ち込みが禁止されているなど、厳しい規律を求められる。しかし、一日中緊張していても体と精神が持たない。食事時間や夜間の自由時間など、仲間と楽しく過ごせる時間もある。土・日は休みだが、土曜日の多くは自習に充てられる。外出ができる日や夏期休暇・正月休みもあるので、時には思い切りリフレッシュして英気を養いたい。



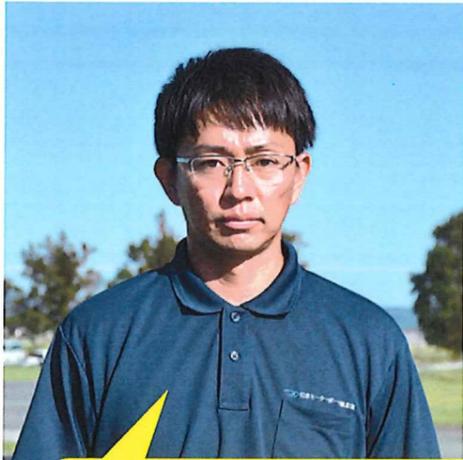
TIME SCHEDULE

ボートレーサー養成所
Professional Motorboat Racer Academy

-  **6:00** 起床
-  **6:10** 日朝点呼
-  **6:30** 掃除
-  **7:00** 朝食
-  **7:50** 国旗掲揚
-  **8:00** 課業開始
-  **12:00** 昼食
-  **13:00** 課業開始
-  **16:55** 国旗降下
-  **17:00** 夕食
-  **17:45** 自習
-  **19:00** 入浴・自由時間
-  **21:00** 掃除
-  **21:30** 日夕点呼
-  **22:00** 消灯



訓練 教官が授けること



教官に聞きました

—訓練生に求められるものは？

訓練生は、礼節、元気、自己管理(健康面)、向上心、誠実さ、負けず嫌い、視野の広さ、気配りが特に求められます。個としての成長はもちろん他人への配慮など、協調性も求められます。

—訓練生に対する思いは？

同じ夢を持って訓練を受けている者同士、互いに切磋琢磨して困難を乗り越えてほしいと思います。そして、ファンを魅了し、お世話になった方々へ恩返しできるような素晴らしい選手になって欲しいです。

ボートレーサー養成所では、操縦、学科、整備、メンタルトレーニングなど、プロレーサーに必要な技術を1年間でみっちり学ぶ。指導にあたるのは、主任教官、助教教官、実技教官。操縦やボート・モーターの整備、プロペラ修整を指導する実技教官は元ボートレーサーだ。

入所するとまず始めに、ボートレーサー養成所で生活していくための基本動作を徹底的に訓練する。これを教練といい、気をつけの姿勢や敬礼を号令に合わせてピンッと決められるよう、叩き込まれる。できない者には容赦なく怒声が飛ぶ。教官の厳しさに最初に触れるのはこの時になるだろう。その姿は時に「鬼」に見えるかもしれない。

だが、厳しさの裏には必ずそうしなければいけない理由がある。1年間という限られた期間でプロになるためには、少しでも多くの時間を訓練に充てなければいけない。教練の目的は、そのために不可欠なきびきびとした動作を習慣づけさせること。できない者がいれば、全員がその次の訓練に進むことができない。厳しくするのは、少しでも早く確実に身につけさせるため。本人と訓練生全員ののためだ。

乗艇訓練では、最初の半年でボートの乗り方やターンの仕方など基本的な操縦技術の習得を目指す。後半に入るとリーグ戦など実戦形式の訓練が行われる。乗艇時間は1人あたり年間で160時間におよぶ。ボートレースは転覆や落水などで大きなケガの危険もある競技だ。教官は水面でも陸でもケガをしない、させないことを徹底的に教え込む。だから、乗艇訓練で自分や他人を危険にさらすような走り方をした時、教官は鬼になる。

教官は、訓練での悩みなどを聞き、解決の糸口がつかめるよう精神面のサポートもする。そんな時その顔に、限りなく温かい目が光っていることに気づくだろう。ある教官経験者は「やめた今でも当時の訓練生の夢を見ることがある。デビュー後も彼らの活躍がずっと気になっています」と話す。教官は、訓練生を自分の子供のように思い、愛情を注いでいるのだ。

どんなことを学ぶの？

乗艇

前半／ボートを思うままに操れるようになるための基礎を学ぶ。

まずはボート・モーターの運搬や、モーターをボートにセットすること。つぎにバドルを使ってボートを漕ぐ訓練を行う。その後やっとモーターを始動しての操縦となる。モーターを使った訓練はモーターボートの状態や水面状況の把握等を行う慣熟航海からはじまり、単独でターンマークをしっかりと回る基本旋回の練習が中心。レースの勝敗に直結する大切な技術であるスタートの練習も行っていく。

後半／より高度な実戦形式の旋回技術を学ぶ。

後半は、実戦形式の訓練になっていく。まずは2艇でターンマークを旋回する練習から。互いの位置を変えず同時にターンマークを旋回する「まくり」、互いがマーク付近で位置を入れ替え交叉し旋回する「差し」を繰り返し行う。そして徐々に艇数を増やしたり、隊形やパターンを変化させ難易度を上げていき、最終的には6艇によるレースを行えるようにしていく。訓練の締めくくりは、修了式の日に行われる修了記念競走。成長した姿を家族や、ボートレース関係者にお披露目する。



整備

実際のレースでは、ボートレーサーはレース前日(前検日)にレース場入りする。使用するボート・モーターを抽選で割り当てられ、自ら整備を行い、本番で良い走りをするためのセッティングを施す。整備やセッティングには規定があり、違反すると出場停止などの罰則が科される。

ボートレーサー養成所では、基礎的な整備技術について学ぶ。整備の訓練は、モーターの仕組みや各パーツの役割等の知識を習得することからはじまり、モーターの分解と組み立ての訓練を行う。正確かつ丁寧な作業を心がけるだけでなく、時間制限を設けたなかで、実戦に対応できる迅速さを身につける。後半になると、いかにしてモーターの性能を向上させるかを考えながら整備をし、自分が整備したモーターで水面を走り、変化を感じ取る力を養う。また、勝敗を分ける重要なパーツであるプロペラ(舟のスクリュー)に関する知識、修整方法について学ぶ。



学科

ボートレースに関する法規や、モーター整備等に必要な内燃機関の知識などを学ぶ。

まず、法規だが、ボートレースはモーターボート競走法(法律)に基づきはじめに実施することができる公営競技だ。ボートレーサーは、この法律のほか、競技に関するルールや罰則規定など、知っておかなければならない諸規則がたくさんある。競技の公正・安全を確保し、お客さんの信頼を失わないようにするために十分に理解する必要がある。

つぎに、内燃機関についても、モーターに関係する理論等を知ることにより性能向上をはじめとした整備に役立てるほか、アクシデントにも対応できるような知識を身につけねばならない。

ボートレーサーは国家資格であり、修了時に資格検定試験に合格しなければレーサーになることはできない。この試験では、ボートの操縦やモーター整備の習熟度だけでなく、法規、内燃機関の理解度を確認する出題もされ、プロのレーサーとしてデビューするに十分かどうかを判断する。



ボートレーサー養成所の食事

朝は洋食か和食のバイキング。昼と夜は、メイン、サイド、スープで構成され、その日によって和食、洋食、中華となる。

栄養士が栄養とカロリーバランスを考慮した献立を考え、食事は養成所の調理場で毎日作られている。

成人男性の必要摂取カロリーを基準に、1日の摂取カロリーが2400kcal前後になるように調整し、旬の食材を使ったり、年中行事にちなんだ献立で季節感も演出。訓練生にとって1年間続く食事が飽きないよう工夫されている。



ある日の昼食のメニュー。
月見メンチカツ、五目豆、
サラダ、すまし汁、ご飯

ボートレーサーの志望動機

ボートレーサーは何を求めてこの仕事を始めたのか。現役選手の志望動機を調査した。(2021年9月1日現在)

- ▶ **1位** 夢や憧れだった・実際にレースを見てカッコいいと思った **355人**
- ▶ **2位** 家族や親戚の勧めで **249人**
- ▶ **3位** 高収入 **176人**
- ▶ **4位** 周囲(友人や先輩など)の勧めで **134人**
- ▶ **5位** 身近に選手がいた **133人**
- ▶ **6位** 家族や周囲の影響で **109人**
- ▶ **7位** 体型が活かせる **66人**
- ▶ **8位** 家族にボートレース場に連れて行ってもらった **65人**
- ▶ **9位** 実力主義だから **51人**
- ▶ **10位** プロの世界に憧れて **45人**
- ▶ **11位** 漫画『モンキーターン』を読んで **42人**

他にも、

- 客として舟券を買っていたが、自分でボートに乗りたくなって
- スーパーカーに乗りたかったから
- 女性でも男性と同等に戦えるプロスポーツだと思ったから
- プロのレーサーとしてスタートラインが皆同じだから
- ボートに乗ってみて最高に楽しかったから

なども

若手選手の志望動機

 元々ボートレースが好きで、兄が先に選手になったから	 小学生の頃からの憧れ	 幼い頃から父のレースを見て憧れた	 小さな体を活かせると思ったから	 工業高校で学んだ整備力を活かしてボートに乗りたと思った
 運動が好きで小柄な身体の私にとって最高の職業	 モンキーターンを読んで	 競走が好きだったから	 親からの勧め	 ボートレーサーになった兄に勧められて



—ボートレーサーになる前は准看護師をされていたそうですね。
母が看護師をしていて、何かしら資格を持つといいと勧められていたので、看護師になろうかなど。
—ボートレーサーになろうと思ったきっかけは？
もともと父がボートレースの大ファンで、小さいころから丸亀ボートに連れて

いってもらっていましたが、選手になりたいとはあまり考えていませんでした。看護学校に通っていたときに、兄(中村晃朋選手)が養成所に受かったのが一番のきっかけでしたね。見ていてレースがカッコいいというのと、父から収入がすごいと言われていたので。受けるだけ受けてみて、ダメなら看護師になろうと思っていました。

—転身を決意したときの周りの反応はいかがでしたか？
父や親戚はみんな大賛成でしたが、母親だけは反対。職場の上司や友人は「えー!すごい!」という感じで応援してくれていました。
—転身してよかったなと思うことは何ですか？
同年代の人よりもはるかに収入が多いから好きなものを買えること。まとまって休みがとれること。それから、自分はただ仕事をしているだけなのに、たくさん見ず知らずの人が応援してくれること。

—休日の過ごし方と賞金の使い道は？
今は子どもがいるので子どもと公園に行ったりしています。結婚前は、マッサージに行くのが好きなのでマッサージに行ったり、旅行やジムに行ったりしていました。賞金は、家を建てたいので貯金しています。

—転身して大変だったと思うことは？
毎日家に帰れるわけではないので、子どもと会えないこと。仕事に行くと1週間は離れ離れなので周りの協力がなくてやっていけないと思いますね。

—旦那様もボートレーサー(竹田和哉選手)ですが、レースに行っている時はお子さんの世話はどうされていますか？
どちらか1人がレースに行っている時はもう1人が世話をし、2人ともレースがある時は、私の母に世話をもらっています。

—社会人としての経験を持ってよかったことは？
先輩とコミュニケーションを取りやすかったこと。職場は年齢幅が広く、同世代ばかりの環境ではなかったので、ボートレーサーとしてデビューしてからも親世代の人とも親しみやすくコミュニケーションが取れたと思います。

—ほかの職業から転身を考えている人にアドバイスをお願いします。
刺激的で新しい発見が毎日ある職業だと思います。いつも同じことの繰り返しでつまらないと思っている人は試験を受けてみては？

—刺激的で発見があるというのはどういうところですか？
いいエンジンに当たったり、悪いエンジンに当たったり、乗りやすいプロペラもあれば、乗りにくいプロペラもある。レースごとに水面も違うし、雨や雪が降ったり、風が吹いたりすることもあって毎日の環境が全然違います。それで調整方法がまったく変わってくるので、発見がいっぱいあります。うまくレースができたときはめちゃくちゃ嬉しいし、逆に下手くそなレースをして落ち込むこともあります。それが刺激的だなと思います。

刺激的で新しい発見が毎日ある職業

中村 桃佳

なかむら・ももか
香川支部所属。1993年2月3日生まれ。香川県立多度津高等学校卒業。2014年3月、第114期生として選手登録。2018年、GIIレディースオールスター優勝。兄の中村晃朋(第111期生)、夫の竹田和哉(第112期生)もボートレーサー。



BOATRACER INTERVIEW

いろいろなスポーツからボートの世界へ

ボートレーサー養成所の入所試験には、スポーツ活動において実績を残してきた者に対し、特別枠(106期生から)やスポーツ推薦枠(111期生から)が設けられている。

いろいろなスポーツで活躍した若者たちが、プロ選手であるボートレーサーへの転身を目指し、養成所の門を叩いている。

特別枠・スポーツ推薦枠での入所者

■ 男性 ■ 女性 ■ 特 特別枠 ■ ス スポーツ推薦枠

モータースポーツ

オートバイロードレース

106期 特 106期 特
107期 特 107期 特
108期 特

オートバイトライアル 106期 特

レーシングカート 111期 ス 129期 ス

オートバイスーパーモト 117期 特

ジェットスキー 123期 特 125期 特

オートバイモトクロス 134期 ス



球技

野球

111期 ス 112期 ス 116期 ス 117期 ス
118期 ス 119期 ス 119期 ス 127期 ス
128期 ス 131期 特

サッカー

111期 ス 130期 ス 134期 ス
116期 ス 124期 ス 132期 ス

ソフトボール

111期 ス 113期 ス 130期 ス

ラグビー 111期 ス

バドミントン 115期 ス 131期 ス

水球 114期 ス

ハンドボール 115期 ス 119期 ス

卓球 115期 ス

ソフトテニス 118期 ス

バスケットボール 128期 ス



陸上競技

短距離

112期 ス
112期 ス

長距離 114期 ス

中距離 116期 ス 128期 ス

障害 120期 ス

跳躍 120期 ス

混成 131期 ス



ボートレーサーへ!



格闘技

ボクシング

111期 特 118期 特
111期 ス 131期 ス

テコンドー

111期 ス 118期 ス

少林寺拳法 114期 ス

107期 特

フェンシング 118期 ス

空手 126期 ス

剣道 120期 ス

128期 ス レスリング 119期 ス

128期 ス

柔道 127期 ス



サイクルスポーツ

111期 ス 120期 ス

自転車 120期 ス 123期 ス

128期 ス 132期 ス

自転車 BMX 117期 ス



その他スポーツ

水泳 111期 ス 112期 ス

カヌー 112期 ス 116期 特 120期 ス 125期 ス

ライフセービング 113期 ス トライアスロン 118期 ス

乗馬 117期 ス スノーボード 118期 ス

ボート 120期 ス 130期 ス シンクロ 122期 特

130期 ス 133期 ス 水上スキー 123期 ス

134期 ス

フィギュアスケート 122期 ス ヨット 133期 ス



photo by Julia

—BMXからボートレーサーに転身しようと思ったきっかけは？
BMXの先輩から勧められました。BMXから競輪選手になる人はいたので、そういう道があるのは知っていたけどボートレースのことは正直知らなかった。僕は体も細くて競輪には向いていないと思っていたんですが、先輩から「ボートならいけるんちゃう？」と言われて、エンジン付きのボートならできそうかなと。エンジンをいじったりするのも、元々バイクが好きだったこともあって向いているのかなと思って。

—スポーツ推薦で受験してよかった点は何か？
僕はBMXしかやってこなかったんで学力には自信がなかった。学科試験の免除があったのはよかったです。

—今でもオフタイムにBMXをやっているのですか？
時間があるときには乗るように心がけています。乗っていた方がボートにも生きてくるとは思うんですけど、ケガできないので、それは気をつけてやっています。

—BMXのこういったところがボートレースにも役立っているのでしょうか？
体幹やバランス感覚が鍛えられるところ。それをやっていたから今の自分があると思うし、トレーニングとしては一番いいのかなと思います。

—妹さん(上田紗奈選手)にもボートレーサーという職業を勧められたそうですね。
僕から「ボートレーサーになりや!」と勧めたわけではないと僕自身は思っているんですけど…。でも、ボートレーサーはいい仕事



だと思ったので「やってみたら?」というくらいの感じでした。
—ボートレーサーをいい仕事だと考えている理由は何でしょうか？
素人が1年でプロになれるなんて他にはないですし、結果次第ではさぞ稼げるので。一般企業で働いたことはないですけど、年数が経たないと給料はなかなか増えないと思いますし、自分の頑張りがそのまま評価してもらえるところがいいなと思います。
—スポーツ推薦での受験を考えている人にアドバイスをお願いします。

スポーツをやっている人には当たり前のことだと思いますが、日々のトレーニングを積んで、自分らしさを出していけば結果につながるんじゃないかと思います。

BMXの経験が今も生きている

上田 龍星

うえだ りゅうせい
大阪支部所属。1995年7月15日生まれ。大阪市立生野工業高等学校卒業。
2015年9月、第117期生として選手登録。妹の紗奈(第123期生)もボートレーサー。



BOATRACER INTERVIEW

修了→デビューへ!!

若手選手にレーサーを目指したきっかけ、そして、いまの目標について話を聞いた。

2016年5月にデビューした板橋侑我は、幼い頃からレーシングカートを経験し、整備もレースも自分でできるボートレーサーに「一瞬で」と決めた。負けず嫌いで、ボートレーサー養成所時代は誰よりも早く、多く水面に出ることを意識していたという。

—ボートレーサーを目指したきっかけは?

5歳頃から小学生までレーシングカートをやっていて、小さい頃からモータースポーツが好きでした。高校生で、いざ就職となった時も、整備とか自動車に関わりたいなと思っていました。F1も好きだったので、ピットクルーとか、整備士とか。でも「そうなくても絶対、ドライバーにそこがれを持つだろうな」とも思っていて。それで親に相談したら、整備もレースも自分でやる「ボートレース」を勧められて、一瞬で「これしかない」と、応募しました。

—レーシングカートの経験はボートレースにも役に立っていますか? やっていたのと、やっていないのでは全然、違いました。物心がついた頃には、もうレースをしていて、1位を獲得することの大事さや喜び、スピード感やコーナーの踏み込みまで経験していたのは大きかったです。

—ボートレーサー養成所で最も学べたことは何でしょうか?

技術面はもちろんですけど、人としての礼儀を学べました。入所前は、礼儀も節度も欠けていましたので、修了後に高校の先生にも「全く人が変わったね」とすごく驚かれました。弱かったメンタル面も強くなったと思います。

—養成所では、卒業記念レースで優勝するなど、成績は抜群でしたね。レーシングカートで1位を獲得することにこだわってきましたから、小学生の頃から、すごく負けず嫌いで。だから「ボートレーサーを自分の職業にするなら、もっと貪欲にやらなきゃいけない」と、養成所時代は、誰よりも早く、多く水面に出ることを意識していました。

—実際にボートレーサーになって、どうレースに臨んでいますか? レースでこじんまりしないようにしています。「水面では先輩も後輩もない」と思わないと、やっぱり勝てない。先輩相手でもガツガツいかないと。レース以外では上下関係を尊重していますが、「でも水面では絶対負けられないぞ」という強い気持ちでやっています。でもやっぱり、強い選手は一杯いますから、壁にもぶち当たるし、「なんでこんなに(1~3)着を獲れないんだろう」と悩むこともあります。

—将来、どんなレーサーになりたいですか?

—将来、どんなレーサーになりたいですか? 師匠で、トップレーサーの笠原亮選手と同じ舞台に立ちたい。そしてSGを獲得するレーサーになれたらと思います。あと、父に毎月、仕送りをするんですが、もっと稼げるようになって、もっとバックアップしてあげたいです。



SGを獲れるレーサーに!! 整備もレースもやれる「ボートレース」に決めた 板橋 侑我

いたばし・ゆうが
静岡支部所属。1996年6月3日生まれ。私立加藤学園高等学校卒業。
2016年3月に第118期生として選手登録。身長170cm。血液型はO型。

お父さまから板橋選手へ 一歩一歩、技術を磨き、人としても 一流になってほしい

—板橋選手から「ボートレーサーになりたい」と打ち明けられたとき、どう思いましたか?
子どもの頃からレーシングカートをしていたので、レースの心構えなど、本人に向いていると思い、ボートレーサーになることを勧めました。
—受験や入所までの期間、何かサポートをしましたか?
食事は、高タンパクなメニューになるようにしていました。
—現在の彼に伝えたい言葉は?
先輩選手の壁は厚いですが、一歩一歩、技術を磨き、また人としても一流になれるよう、頑張ってください。

山崎小葉音は、いわゆる「2世レーサー」だ。「勝つて当たり前」の両親のレースぶりに憧れて、ボートレーサーになると決意した。2018年11月のデビュー後、「とにかく勝ちたい」と練習に、レースに立ち向かっている。

—ボートレーサーになろうと思ったのはいつですか?

—ボートレーサーになろうと思ったのはいつですか? 父(元選手)や母(元選手)のレースを小さい頃から見ていて、憧れていたんです。小学校の高学年くらいから「ボートレーサーになりたい」と思うようになって、中学2~3年の頃には、ボートレーサー養成所を受けようと考えていました。

—ボートレーサー養成所でどんなことを学びましたか?

—ボートレーサー養成所でどんなことを学びましたか? 私の場合、「絶対に失敗できないところで、いかに良いパフォーマンスができるか」ということです。試験も結果が点数で出まわし、落ちたら、もうボートレーサーになれないので。「転覆してしまったら」「フライングしてしまったら」という、プレッシャーと緊張感のなかで、どうやったら上手くできるか考えていました。もうやるしかなかったです。

—教官は厳しかったですか?

—教官は厳しかったですか? 厳しかったですね。主任教官も、とても怖かったですけど、でも実は優しい。私たち養成員のことを、本当に思ってくれていると感じていました。雰囲気は締めて、きちんと厳しく叱ってくれる、でも私たちがいつも見てくれている、そんな存在でした。

—それだけ厳しい養成所ですから、ボートレースの技術が十分身につくそうですね。

—それだけ厳しい養成所ですから、ボートレースの技術が十分身につくそうですね。もちろん、大事な基礎は身に付きますが、実際のレースでは、その応用が必要です。デビューしてからの方が、上手な先輩と練習する機会もありますし、技術もついてくると思います。私も師匠の椎名豊選手に練習をみていただいたり、アドバイスをいただいたりしています。

—デビュー後のレーサー生活はいかがですか? まだ思うようにボートに乗れていないです。両親は勝つのが当たり前だったので、養成所に入る前は、「レースは簡単に勝てるのかな」と甘くみていました。それが



—デビュー後のレーサー生活はいかがですか? まだ思うようにボートに乗れていないです。両親は勝つのが当たり前だったので、養成所に入る前は、「レースは簡単に勝てるのかな」と甘くみていました。それがもう養成所の段階でつまづいてしまっ...正直、気持ちが折れそうになることもあります。全然、難しかったですね、本当に難しいです。—ボートレーサーにとって大事なことは何だと思えますか? 何でも怖がらないで、思い切ってできること、でしょうか。私は、まだ「ビビってしまうところがあるので、「もっと思い切って、何にでもチャレンジしていかなければ」と思っています。

—ボートレーサーとして目指していることは何ですか? 今は、とにかくもう、勝ちたいです。そのために、もっとターンの精度を上げたいです。練習ではうまくいっても、本番でなかなか成功できないので。

両親のレースぶりに憧れてボートレーサーに 山崎 小葉音

やまさき・こはね
群馬支部所属。2000年10月7日生まれ。群馬県立大田東高等学校中退。
2018年9月に第123期生として選手登録。身長147cm。血液型はA型。



お母さまから山崎選手へ 自分で考えて行動して欲しい

—山崎選手から「ボートレーサーになりたい」と打ち明けられたとき、どう思いましたか?
この仕事の厳しさや楽しさを知っていますので、とても複雑な気持ちでした。
—現在の彼女に伝えたい言葉は?
もっと自分で考えて、いろいろな行動をとって欲しいです。

ターンの精度を
上げて勝ちたい!!

BOATRACER INTERVIEW

BOAT LADIES

男子と戦えるのは、むしろ魅力!



MAHO KATSUURA

勝浦真帆(かつらまほ)
岡山支部所属。
1995年12月30日生まれ。私立岡山県美作高等学校卒業。2015年3月に第116期生として選手登録。身長154cm、血液型B型。



CHIHIRO OOYAMA

大山千広(おおよまちひろ)
福岡支部所属。
1996年2月5日生まれ。私立近畿大学附属福岡高等学校卒業。2015年3月に第116期生として選手登録。身長161cm、血液型O型。



AYA SEKINO

関野文(せきのあや)
大阪支部所属。
1993年11月1日生まれ。私立清教学園高等学校卒業。2016年3月に第118期生として選手登録。身長149cm、血液型O型。

若手女子レーサーが語る 現在、そして将来の夢

若手女子選手3名に、ボートレーサー養成所の思い出やプロ生活、将来の夢などについて語ってもらった。

ボートレーサー養成所の思い出

—ボートレーサー養成所は厳しいところでしたか?

大山 養成所の生活に慣れるまでの2カ月くらいが辛かったですね。「もう帰りたいな」と思っていました。楽しくはなかったですね、私は。

関野 めちゃ怒られました(笑)。でも、怒られましたけど、食事が3食付いているのと、寝る時間が毎日、きちんとあるだけで、もう全然、良かったです。看護学校の学生時代は、実習の時は寝られなかったですから、2時間だけ寝て実習に行ってしまうのを、ず〜っと繰り返す、みたいな。その生活に比べたら、もう寝られるだけで幸せで、怒られても別に、8時間寝られるし、ご飯もすぐ出てくるし、良かったですよ。

勝浦 私は、とにかく言われたことをする、みたいな感じの生活でした。

—一年間で、ボートレースの技術を身に付けなくてはいいですね。

大山 でも、養成所で習うことは、本当に基礎中の基礎までですよ。

関野 実際は、養成所を出てからが勝負なので。養成所で成績が良く、自信を持って修了しても、デビューして挫折する人もいますから。

—それでは、養成所で学ぶ一番大事なことは何でしょうか?

大山 やっぱ基本的に怒られることが多いですが、それは「どれだけ危険な仕事か」というのを学ぶためじゃないですかね。だから、教官も厳しいです。

関野 それと、メンタルの強さも身に付きますよね。いくら怒られても全然、へこたれないという(笑)。あと、共同生活

も学んだかな。

大山 そうそう、生活態度とか。選手になってからやることを、同じ流れで一年間かけて学ぶというか、慣れるというか。だから技術とかはもう、養成所を出てからの話だと思う。

—実際、選手の皆さんがレース後、他の選手のボートを共同で引き揚げ作業をしているシーンを見かけます。

大山 そうですね。そういうことを学ぶんだと思います。

ボートレーサーの魅力

—デビューした後ですが、プロのレースは厳しいですか?

一同 (頷く)

—その厳しいレースに、どんなモチベーションで臨みますか?

大山 本当に結果が目に見えて分かるので、1着を獲得ということもそうですし、あと賞金も。モチベーションになるものが多いと思います。自分が頑張った分だけ、成果も出ますし。他の仕事よりモチベーションにつながりやすい仕事かもしれないですね。

勝浦 勝ったら嬉しいですけど、負けたときの悔しさとか、苦しきとかも、すごくあります。でも、勝ったときの嬉しさが大きいので。だから結果を出すために、ペラ(プロペラ)を叩いたりとか、体を鍛えたりとか、レースを見たりとかしてます。でも、私はなかなか結果が出にくくて。

—男子選手を相手に、戦っていくことについては?

大山 私は、それが一番の魅力かな。そんな仕事は他にないですし、スポーツでは。だから、それが一番、ワクワクするというか、魅力だなと思っています。

—一年中、全国各地を転戦しますよね。

関野 ボートレーサーの生活スタイルは結構、好きですね。平日働いて土日休み、というよりも、レースの1週間を働いて、まとめて休んで、また1週間を働いてまとめて休んで、っていう。オンとオフのメリハリも付けやすいです。

大山 まあ、結果が良くても悪くても、1サイクルが、1週間で終わりますし、短いですし。

ボートレーサーの上下関係

—ボートレーサーは師匠がいたり、先輩から教わったり、上下関係が独特だと思うのですが。

勝浦 確かに、私も教えてもらってます。先輩も皆さん強いですし、尊敬します。レースと一緒にいれば、練習にも付き合ってくれますね。練習では2艇、3艇で並んで走って、アドバイスをもらったり、ペラのことを教えてもらったり。

大山 ボートレーサーは技術職というか、教わらないともう、全く分からない仕事だと思うんです。だから、先輩に自分からアプローチして、それで教えていただいています。知識もそうだし、あと経験から出てくることとか。

関野 先輩からすれば、教える義務はないわけだし。むしろ、教えて後輩が上手になったら、自分が負けるかもしれないし。それでも教えてもらえる。逆に、後輩の立場から何が出来るかを考えると、気を使ったり、準備を手伝ったりとか、それぐらいしかできないけど。だから、「そういう上下関係」になるのかもね。

ボートレーサーにとって大事なこと

—他のスポーツの経験がある方も多いですが、レースに役立つことはありますか?

関野 いや、特にやっていなくてもできるとは思いますけど。

大山 そうですね。運動神経はあまり、関係ないと思います。女子選手にも、体力がなくても上手な人もたくさんいますから。

関野 養成所に入るということなら、もう、「なりたい」という気持ちが大仕事じゃないですかね。どんなに怒られてもへこたれずにやりきる、っていう。それがあれば、選手にはなれると思います。技術とか、そういうのは後でもいい。

—それでは、ボートレーサーにとって大事なことは?

関野 練習して、考えてとか、そういうことじゃないかな?

大山 やっぱ考えられる人が、すごく強いと思います。勉強とかの頭の良さではなくて、自分で考えることができる人。考えることがすごく大事だと思っているので。スポーツとか部活とかを

やっていれば、そういうことを学ぶ機会はあるかもしれないですね。

オフの時間の過ごし方

—オフの日はどんなことをして過ごされていますか?

大山 いや本当に、普通の女子と変わらないことしかしてないと思いますよ、みんな。ネイルに行ったりとか。

関野 私もネイルは行っちゃ!

大山 あと、美容室に行ったりとか、買い物に行ったりとか、それしかしてない(笑)

勝浦 私は結構、体を動かすことが好きで。たまにですけど、レーサー仲間と登山に行きます。キャンプもやってみたい。運転も好きです。最近、初めて車を買って。

一同 おお〜!

勝浦 いつも行っているような場所でいいので、好きな曲を聴きながら、ドライブしたいですね。

—そういったことで、リセットされますか?

大山 されますね、すごく。

関野 そう、発散できるよね。

大山 休みが長いので、いろんなことをまとめてできるのも、すごくいいですね。

将来の夢 —選手として、プライベートとして—

—将来の夢として、考えていることは?

勝浦 選手としては、まずはもうA級に上がりたい!

それと、人生を楽しみたいです。別荘とか欲しいな。

関野 選手としての夢は、まずはA1級になりたい。あとは、優勝したいです。プライベートは、好きな人と結婚して、人生を謳歌する!

大山 せっかく、こうやって男子と戦える競技なので、やっぱりSGで活躍したいですね。プライベートは、そうですね…1億円貯めたい!

TOP RACER INTERVIEW

峰 竜太

自分との戦いに終わりは無い

一勝つために最も大事にしていることは？

自分が最強とやってやることですね。そういう意識がない人はナンバーワンになる資格はないと思います。あまり表には出せないけど、そういう気持ちがないと一番にはなれないです。

ライバルとして意識している選手はいますか？

ライバルは持たないスタイルで、昨日までの自分と戦っています。自分が一番強いと思っているので、「その自分を超越するために」と思って走っています。

スランプの時は、どう向き合っていますか？

そこが伸びる瞬間なのでチャンスだと思ってやっています。苦手なところが一番伸びしろがある部分だから、スランプに直面すると、まだ伸びるんだと思える。最近は劣っているところを探すのが難しくなっている面もあるので。

まだ足りないなと思うところは？

いま自分のこのポジションでも無限にあります。それは生涯突き詰められないけど、でもそれが楽しいですね、絶対に終わらないので。他の誰かと競うならすぐ終わっちゃうけど、誰かと競っているわけではなく自分との戦いなので。

レーサーとして最も大事だと思うことは？

ボートレースって魅力があるんですよ。1マークのまくり差とかね。それを失敗してもファンに魅せていく必要があると思う。勝つことも大事ですけど、それは意識していきたいですね。自分のことをずっと見てくれる人は、これがうまくなったんだとか進化を見られると思うし、ストーリーがあるんですよ。そういうのを一緒に感じてもらえたらキャンブルというよりスポーツなんだ、感動する競技なんだというのが伝わると思うので、それを発信していければと思います。

ファンの存在は峰選手にとってどういうものですか？

ボートレースそのものじゃないですかね。ファンがいなかったら、僕はこんなに強くなれなかったです。応援してもらっていると力を抜けないです。ファン投票の数にも出るし、人の何倍もの期待



がオッズにも表れる。たまにエンジンが悪い時など「自分の舟券を」買わないでくれ」というときも売れるので、そういう時に何とかしたいという気持ちが自分を強くさせてくれたと思います。

—ではファン投票1位で出場したオールスターでの優勝は格別でしたか？

はい、もう引退してもいいと思いましたがね。

—今後の目標は？

正直ないです。最終目標は立てていなかったんですけど、夢だったオールスターで優勝できたので、あとは業界に貢献できればいいかなと。自分のような地位を続ければ続けるほど選手寿命は縮まると思いましたがね。精神状態が相当きつとときがずっとあって、それを乗り越えてきたので。

—きつというのとはどういう時？

負けていかなと思いたい時もあるけど、自分を100%とすると120%くらいのところみんなの期待があつて。それに応え続けていったので楽じゃなかったですね。楽しい感じを表に出して、その分、裏のきつところは誰にも見せなかったし、それがきつかったなと思います。

—ボートレーサーを目指す人に伝えたいことは？

(ボートレーサーに)なる前や、なりたての頃は「賞金王になる」とか、みんなすごい夢があると思うんですよ。それを一度口にしたら、達成するまで言い続けてほしい。現実を見たときに、その言葉を捨てたくなくなると思うし、実際みんな途中で捨ててしまっている。でも、捨てずにやれば絶対実るし、どれだけ気持ちを注げるかだけで強くなれるので、それを僕が伝えたいです。



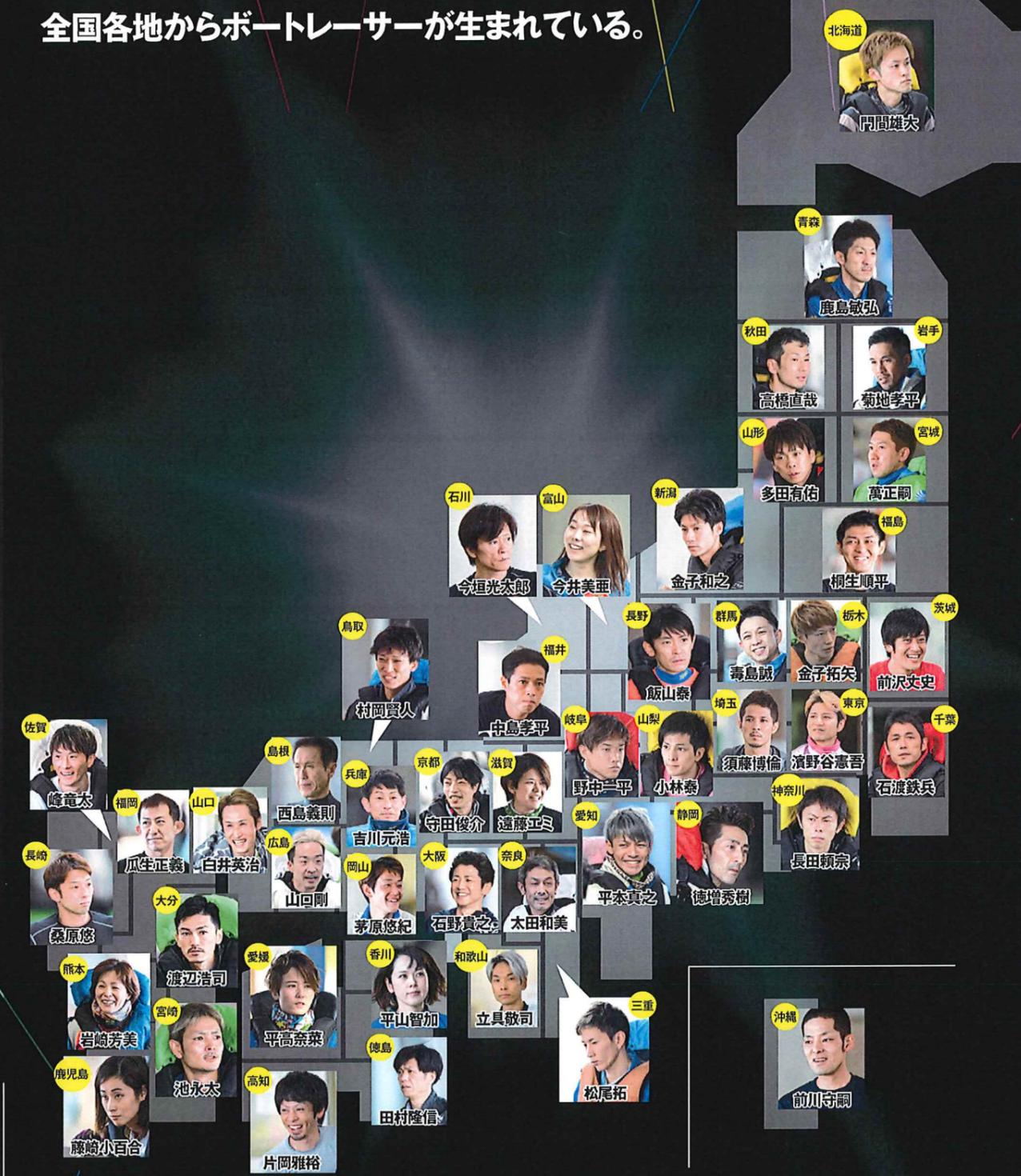
みね・りゅうた

佐賀支部所属。1985年3月30日生まれ。佐賀県立唐津西高等学校卒業。2004年、第95期生として選手登録。2018年、2020年、SGグランプリ優勝。2021年、史上初の6期連続勝率1位を達成。

ボートレーサーの出身地

全国各地からボートレーサーが生まれている。

THIS is BOATRACER



ボートレースと「若さ」の関係

ボートレースは、モーターボートというマシンを扱う競技である。それゆえに、他のスポーツに比べて体力よりも経験がものをいう要素が大きい。だが一方で、若くして活躍するレーサーもいる。デビューから早い段階で結果を出している若手選手に話を聞いた。



栗城 匠

どんな状況でもあきらめない

—ボートレーサーになりたいと決心したのは中学生の頃だったそうですね。

ボートレーサーを目指すまでは、やりたいことは特になかったです。でもお金持ちになりたいとはずっと思っていました。母親が見ていたテレビ番組の録画を見て、ボートレーサーが高収入ということを知り、これしかないと思いました。体格も試験内容も自分に向いているなと思って。それまではボートレースについて全く知らなかったです。

—ボートレースを初めて見たときの印象と、実際に乗ったときの印象を教えてください。

最初に見た時はボートレースのことを知らなかったので正直、簡単そうだなと思いましたが、実際に初めて乗ったときは「こんなに足腰に負担があって、ボートを操れないものなのか」と思いました。

—2021年5月、GI初優勝を達成しました。何が結果につながったと思いますか？

今まで自分が足りないと思うことは妥協せずにやってきたので、それが結果に出たんだと思います。それまでは調整やメンタル、レースの仕方もすべてが足りていなかった。それらがすべて万全でないと勝てないので、全部がうまくいったというか、ちょっと上のレベルに上がったからだと思います。

—先輩からアドバイスをもらったりすることはありますか？

主にプロペラ調整についてですね。いつもは自分一人で調整していますが、気になることがあったら先輩に聞いて調整しています。GIで初優勝した優勝戦の前も心を落ち着かせてくれたのは先輩でした。ただ話を聞いてもらうだけでも緊張を和ら

げてもらえて、それで自信を持って臨むことができました。—トップレーサーとは、どんな差があると感じますか？

一番はプロペラ調整です。自分はまだ6年目なので5年分のプロペラ技術しかない。その経験の差が大きいと思います。

—ボートレーサーとして最も大事だと思うことは何ですか？

どんな状況でも絶対に諦めないことだと思います。実力がついてもエンジンが関わってくるので、どうしても勝てないこともあります。でも、それで気持ちが折れて、やるべきこともやらずにレースに臨むのでは上には行けないと思います。どんなときでもやるべきことをちゃんとやっていけば、ちょっとずつでも上に上がれると思います。

—今後の目標を教えてください。

SGを獲ること。それからグランプリを獲ること。今まで全部平和島で勝っているので平和島でグランプリを獲りたい気持ちがありますけど、まずはSGを獲りたいです。



くりき・しょう

東京支部所属。1995年5月26日生まれ。私立鹿島学園高等学校卒業。2016年3月、118期生として選手登録。2021年5月、平和島でGI初優勝。

ボートレーサーのONとOFF

ボートレーサーはレース期間中、どのようなことを考えているのか？
レースが終わったあとの休日はどのように過ごしているのだろうか？
トップ選手が語るオンとオフの過ごし方！

頂上へ行くにも“半歩ずつ” 茅原 悠紀

—レースの期間中、選手宿舎ではどのようなことを考えて過ごしていますか？

ほとんど仕事のことを考えています。明日のレースがどうい

う感じで、プロペラの回転をどう合わせようか、などですね。

—終わったレースと次のレース、どちらについて考えますか？

まず今日終わったレースの反省をします。次の日のことも考え

ますが、あまり枠番を見て作戦を立てるタイプではないので、反省から入ることが多いです。

—オン、オフの切り替えで気を付けていることは？

切り替えは大事なので、仕事場は仕事場、遊びの時はボートのことは一切忘れて全力で遊べるようにしています。オフ

の時は本当にボートのことは考えないですね。もう少し考えた方がいいんじゃないかと思うほどです。

—オフの日は、誰と遊ぶことが多いですか？

家族やボートレーサー以外の友達とも遊びますが、やはりボートレーサーの友達や後輩と遊ぶことが多いかな。最近、山形まで出かけました。岡山から車で13時間かけて

行って、登山して、大鳥池でタキタロウという伝説の魚を釣りに行って。そういった冒険的な遊びをするのが好きですね。

—山登りの魅力とは？

車で山に向かっているだけでワクワクする。山に行けば釣りも楽しめるし、キャンプしながらご飯を作って、山の中で食べると格別おいしい。それが楽しいですね。その最中は仕事のことは忘れるし、考えようとも思わない。ただ、仕事と



も疲れるのでしんどい時もあります。どこが頂上かなと思って登ると案外遠いし、頂上近辺まで行こうとするとかなり体力がいるんですが、山は黙々と歩いていけば頂上に着くんですよ。山で学んだことは、半歩ずつでも進めば絶対に頂上に到達できるということ。選手生活でも半歩ずつ止まらずに進めば自分の目指す頂上まではいけるのかなと。そういう風に物事を考えられるようになりましたね。

—オンとオフの過ごし方について、後輩たちへのアドバイスはありますか？

100%全力で遊べるように仕事すること。全力で遊ぶのも意外と難しいんですよ。お金も時間も必要だし。質のいい仕事をするによって、質のいい遊びができると思います。



かやはら・ゆうき

岡山支部所属。1987年7月11日生まれ。岡山県立東岡山工業高等学校中退。2006年第99期生として選手登録。2014年、SGグランプリ優勝。

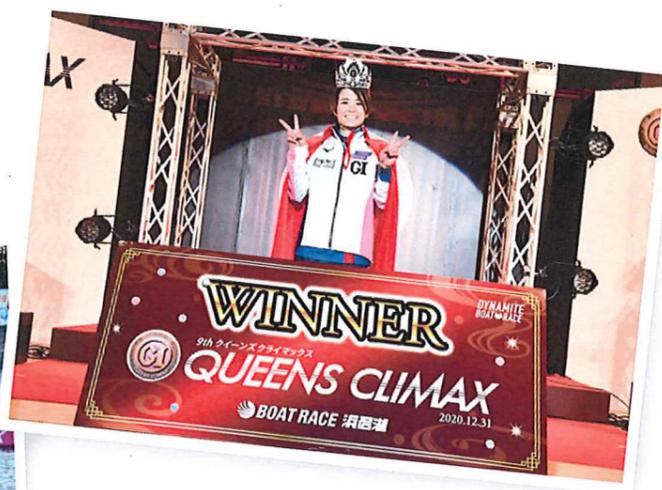
BOAT LADY!

THIS is BOATRACER

女子レーサーも多数活躍

ボートレースの選手数は1,595人。そのうち251人が女子レーサーだ(2023年8月7日現在)。プロスポーツは一般的に男女別に試合を行うが、ボートレースは体力の差が出にくいモータースポーツなので、男女が同じステージ条件で戦う。同時に、女子レーサーだけで争うオールレディースやヴィーナスシリーズもある。

男女の実力差についてはさまざまな見方があるが、2022年には遠藤エミ選手がSGを女子で初めて制した。今後もさらなる女子選手の活躍が期待される。



「レディースオールスター」 「レディースチャンピオン」 「クイーンズクライマックス」

レディースオールスター(優勝賞金460万円)は、投票で選ばれたファンのお気に入りの選手が出場するレースだ。

真夏に開催されるレディースチャンピオン(優勝賞金1,200万円)は、年間24回開催されるGI「オールレディース」の優勝者が優先的に出場できる。

そして、12月の最後にその年のクイーンを決めるのが、クイーンズクライマックス(優勝賞金1,600万円)。同レースには、年初からの獲得賞金額が多い12名の女子レーサーのみが出場を許され、クイーンに輝いた女子レーサーには、ティアラが戴冠される。また、2024年度よりGI「スピードクイーンメモリアル」が新設された。

このほかにも、「ヴィーナスシリーズ」など女子だけのレースが年間を通じて開催されている。女子レーサーの人気は年々高まっており、どのレースでもファンの注目を集めている。



ボートレーサーの職場結婚

ボートレーサーのなかには、同じボートレーサーを伴侶とする人もいます。お互いにまとまった休みがとれる反面、レース期間中は選手宿舎で生活し、家を空けなければならない。そんなボートレーサー夫婦の結婚生活について聞いた。

—おふたりの出会いのきっかけは？

富樫：ボートレーサー養成所の同期で、卒業してから一緒に多摩川や平和島で練習したりしていくうちに仲良くなりました。

今泉：デビューした当時は練習とかでずっと会っていたので、会う頻度は多かったと思います。

—富樫選手は、A級になるまでは結婚しないと公言されていたそうですね。その理由は？

富樫：ボートが好きで、上手くなるためにはボートのことだけを考えようと思ったからです。私は昔から色々なことを器用にできるタイプではなかったので、とにかくボートを頑張ろうと決めていました。

—それに関して、今泉選手は？

今泉：特に何も思っていなかったです。同期なので頑張ってもらいたいとは思っていましたが、それくらいですかね。

—ボートレーサーと結婚してよかったと思うことは？

富樫：今は行けないけど、海外旅行がお互い好きなので休みを

合わせて旅行に行けることです。今度行ってみたいのはカリブ海。海があるところが好きなので。

今泉：特殊な職業なので、休みが不定期だったり、レースに入ると全く連絡が取れなかったり、そう

いう、一般的には理解しづらい点を分かってもらえること。あとは減量もあるので、1人だけで食事を我慢しなくていいという面もあります。

—家で仕事の話をすることはありますか？

富樫：私はアドバイスが欲しい時は言いますが、私から話を持ち出さない限りはほとんどしないですね。

—では、今泉選手からはボートの話はしない？

今泉：そうですね。たぶん仕事の話をしすぎると仲が悪くなると思います。

—仕事と家庭の両立で難しいと思うことはありますか？



今泉：レースに入ると、何かあっても連絡がとれないので、なかなか相談できないことです。

富樫：レースに行ってしまうとゴミが出せないことです。2人ともレースがあって出せないときはベランダに溜めてしまいます。

—両立に向けて心がけていることや努力していることはありますか？

富樫：当たり前のことを当たり前でやること。掃除とか洗濯とか。
今泉：レースに行く前に家を綺麗にしておくこと。1人だとけっこう散らかしてしまうので、片付けたり、食器を洗っておいたり。

—ボートレーサーとしての目標、プライベートの目標を教えてください。

富樫：私はまだA1に上がったことがないので、A1になることが目標です。プライベートの目標は、綺麗に歳を取ることです。

今泉：レーサーとしての目標を持つというよりも、一歩一歩をしっかりと走り続けることを心がけています。自分は大きな目標を立てるとうまくいかないことが多いので、「目の前の一歩一歩を大事にしていれば、結果はついてくる」という、師匠の村田修次さんの言葉を大切にしています。プライベートの目標は、2人で仲良く楽しく過ごしていけたらいいと思います。



富樫麗加 今泉友吾

とがしれいか

東京支部所属。1989年11月8日生まれ。白百合女子大学卒業。2013年3月に第112期生として選手登録。

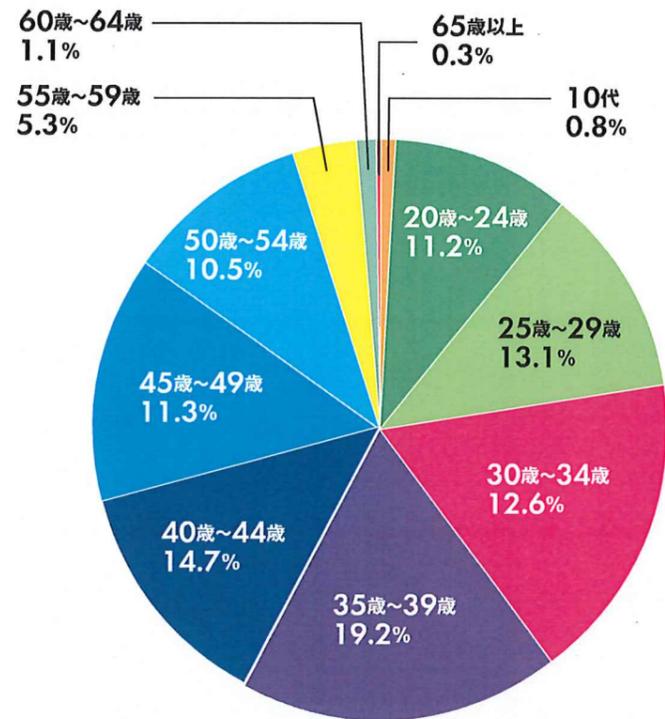
いまいずみゆうご

東京支部所属。1989年12月3日生まれ。明治大学卒業。2013年3月に第112期生として選手登録。

ボートレーサーは長く続けられる

ボートレースは、長く現役を続けられる競技だ。50歳以上のレーサーが200人以上もいる。加えて若手の活躍の場も多いので、他のスポーツと比べて選手寿命はきわめて長いと言えるだろう。

ボートレーサーの年齢分布 2023年8月7日現在



年齢	人数	割合
10代	13人	0.8%
20歳~24歳	178人	11.2%
25歳~29歳	209人	13.1%
30歳~34歳	201人	12.6%
35歳~39歳	306人	19.2%
40歳~44歳	235人	14.7%
45歳~49歳	181人	11.3%
50歳~54歳	167人	10.5%
55歳~59歳	84人	5.3%
60歳~64歳	17人	1.1%
65歳以上	4人	0.3%

- 平均年齢 …………… 38歳
- 平均引退年齢 …… 50歳^(※)
- 平均デビュー年齢…21歳
(最近3年間)

最年長記録

- SG優勝:1997年8月 安岐真人
(52歳7カ月)SGボートレースメモリアル
- GI優勝:2006年4月 万谷章
(62歳5カ月)GIマスターズチャンピオン
- 優勝:2013年3月 加藤峻二
(71歳2カ月)一般戦
- 1着:2023年6月25日 高塚清一
(76歳3カ月)一般戦での1着

平均在籍年数約28年

ボートレーサーの在籍年数は他競技に比べて際立って長い。年齢を重ねても活躍するレーサーが多いことに加え、若いレーサーにも活躍の場が多いため、早い時期に辞めてしまう者が少ないことが理由に挙げられるだろう。

	平均年齢	平均引退年齢	平均在籍年数
ボートレース	38歳	50歳 ^(※)	28年 ^(※)
プロ野球	27歳	29歳	9年
サッカー・Jリーグ	23歳	26歳	5年

(※)2008年度以降の平均値

Mini Column ミニコラム

**デビュー選手の
初年度獲得賞金額**

455万円 (最近3年間の平均)

ボートレーサーの保障制度

ボートレーサーの収入は、レースに出場することで得られる。しかし、ケガなどやむを得ない理由で出場できない時もあるだろう。そんな時は、選手会がケガの保障をする。選手会は、レーサーになったら全員が加入する互助会組織で、賞金の一部を積み立てるなどして運営されている。ケガや入院の保障のほか、年金制度などもある。

選手会に聞きました保障制度 **Q&A**

Q ケガや入院の際の保障はどうなっていますか?

A レースや整備中、試運転などのケガで通院したり入院した場合、国民健康保険の本人負担分を支給します。さらに、入院した際に、入院付加金が別途支給されます。入院や療養期間中は、期間に応じて休養給付金が支給されます。

Q 結婚や出産の祝い金などはありますか?

A 結婚、子供が生まれた時、自宅が自然災害や火災等で被災した時には、それぞれ給付金が支給されます。

Q 選手を辞めた後の保障はありますか?

A 選手会に入ってから5年以上経つと引退時に退会一時金が支給され、15年以上経つと、年金制度に加入することができます。これらは、一般の会社の退職金、企業年金に相当します。

ボートレーサーの社会貢献活動



被災地復興支援

2011年3月11日の東日本大震災では、全選手よりの救援金や、街頭募金活動を実施。そのほか、震災被災地である石巻市における直接的な復興支援活動を、新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年冬まで継続的に行ってきた。

このことをきっかけに、令和元年の大雨や台風被害等、全国で頻発する自然災害においても、被災地における復興活動に参加、現地に赴けない場合は支援金を募って寄付するなど、各種支援活動に尽力している。



パラスポーツ支援

東京2020オリンピック・パラリンピック開催をきっかけに、誰もがスポーツを通じて幸福で豊かな生活を営める共生社会の実現に寄与すべく、パラスポーツ団体にボランティア事業等の協力を行っている。活動内容は大きく分けて、選手が各種レースで獲得した優勝カップの寄付、選手による各種パラスポーツ大会へのボランティアスタッフとしての参加、大会の運営資金の一部支援である。パラスポーツ団体の多くは人手および資金不足に悩んでおり、ボートレーサーによるこうした支援活動は非常に助かっているとの言葉をいただいている。



施設等への慰問・地域への貢献活動

各支部において年間を通じて実施され、餅つき大会やクリスマスパーティ等をはじめとした交流、文房具やお菓子の贈呈をするなどの慈善活動を行っている。他にも、レース場周辺で催される夏祭りやトライアスロン大会等への協力も積極的に行っており、地域社会の健全な発展や健康の増進にも寄与している。また、河川や海浜、名勝における清掃活動も定期的に行っており、地域住民との親睦を深めつつ、環境美化に努めている。

自治体・福祉団体等への各種支援活動

選手個人ならびに各支部が、地域への恩返しとして、被災地への救援として、社会的弱者への救済として、様々な活動を行っている。また、実際に活動を行わずとも、チャリティイベントの収益や自身の獲得賞金から多額の寄付を行い、社会貢献に資している。その用途は新型コロナウイルス感染症の対策支援や、恵まれない子供たちへの支援など多岐にわたる。

選手会、各支部、選手個人による寄付の総額は、2022年末において3億9,200万円以上となっている。



紺綬褒章

紺綬褒章とは日本の褒章の一つであり、公益のために私財を寄付した者に授与されるもの。公的機関や公益法人などに500万円以上寄付した個人もしくは1,000万円以上寄付した団体に贈られる。



登録第4166号
吉田拓郎選手(岡山)
2018年の第23回オーシャンカップで準優勝し、「平成30年7月豪雨」からの復興に向けて倉敷市に多額の義援金を寄付した功績が認められ、2019年7月30日付で受章。



登録第4238号
毒島誠選手(群馬)
自然災害が発生するたびに獲得賞金の一部を日本財団の「災害復興支援特別基金」に寄付し続けていた功績が認められ、2020年5月30日付で受章。



登録第3744号
徳増秀樹選手(静岡)
「令和2年7月豪雨災害」被災地の復興支援および新型コロナウイルス感染症対策のために獲得賞金の一部を日本財団「災害復興支援特別基金」に寄付した功績が認められ、2021年1月30日付で受章。



登録第3783号
瓜生正義選手(福岡)
日本財団が行う環境的に恵まれない子供への支援事業「夢の奨学金」に対し獲得賞金の一部を寄付した功績が認められ、2022年5月28日付で受章。

DO YOUR BEST

問い合わせ先 最寄りの支局・支部または競走会広報課へお問い合わせください。

ボートレーサー養成所

〒839-0263
福岡県柳川市大和町大坪54-1
TEL: 0944-76-5051

関東支局(江戸川・平和島・多摩川)

〒143-0011
東京都大田区大森本町1-2-8
TEL: 03-3766-9511

桐生支部

〒379-2398
群馬県みどり市笠懸町阿佐美2887
TEL: 0277-76-2222

戸田支部

〒335-0024
埼玉県戸田市戸田公園8-22
TEL: 048-441-7711

東海支局

〒431-0301
静岡県湖西市新居町中之郷3727-7
TEL: 053-401-1105

浜名湖支部

〒431-0301
静岡県湖西市新居町中之郷3727-7
TEL: 053-594-1531

蒲郡支部

〒443-0046
愛知県蒲郡市竹谷町太田新田1-1
TEL: 0533-68-2530

常滑支部

〒479-0837
愛知県常滑市新開町4-111
TEL: 0569-35-2734

津支部

〒514-0815
三重県津市藤方780
津ボートレース場内
TEL: 059-226-2430

近畿支局

〒559-0024
大阪府大阪市住之江区新北島8-1-60
TEL: 06-6681-3939

三国支部

〒913-0001
福井県坂井市三国町池上69-8
TEL: 0776-77-3140

琵琶湖支部

〒520-0023
滋賀県大津市茶が崎1-2
TEL: 077-524-3232

住之江支部

〒559-0023
大阪府大阪市住之江区泉1-1-71
TEL: 06-6682-6280

尼崎支部

〒660-0082
兵庫県尼崎市水明町199-1
TEL: 06-6412-3673

中四国支局

〒711-0922
岡山県倉敷市児島元浜町88-25
TEL: 086-441-3183

鳴門支部

〒772-0011
徳島県鳴門市撫養町
大桑島字北ノ浜9-18
TEL: 088-685-5005

丸亀支部

〒763-0011
香川県丸亀市富士見町4-1-2
TEL: 0877-24-4560

児島支部

〒711-0922
岡山県倉敷市児島元浜町88-25
TEL: 086-473-2121

宮島支部

〒739-0411
広島県廿日市市宮島口1-15-60
宮島ボートレース場内
TEL: 0829-56-1131

徳山支部

〒745-0802
山口県周南市大字栗屋1033
徳山ボートレース場内
TEL: 0834-25-0592

九州支局(若松・芦屋・福岡)

〒810-0071
福岡県福岡市中央区那の津2-11-1
TEL: 092-741-6933

下関支部

〒752-0934
山口県下関市長府松小田東町1-1
下関ボートレース場内
TEL: 083-245-2121

唐津支部

〒847-0031
佐賀県唐津市原1116
唐津ボートレース場内
TEL: 0955-77-2122

大村支部

〒856-0834
長崎県大村市玖島1-15-1
大村ボートレース場内
TEL: 0957-52-6194

一般財団法人日本モーターボート競走会

募集要項は
こちら

